

平成27年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

平成27年度 事業報告書

はじめに	1
1 事業報告	5
《目黒区文化ホール》	5
自主事業	5
受託事業	38
《目黒区美術館》	47
自主事業	47
受託事業	59
その他事業	64
2 処務の概要	
重要な契約の概要	69
財団運営会議開催状況	69
理事会・評議員会開催状況	70
評議員・理事・監事名簿	71

はじめに

平成 27 年度は、目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）及び目黒区美術館（以下「美術館」という。）の指定管理者として新たに 5 年間の指定を受けた 2 年度目でした。また、目黒区（以下「区」という。）の緊急財政対策期間は終了したものの、両施設とも区補助金等の削減が継続されるなど厳しい財政状況でありました。

そのような状況の中でも、公益財団法人として区民・利用者の皆様の立場に立ち、創意工夫を心掛けながら財団の自主財源や他団体の助成金も活用して、芸術文化振興の使命を果たすようサービスの向上と効率的・効果的な財団運営に努めました。

特に、東日本大震災から 5 年を迎え、区の友好都市である気仙沼市などの復興支援を図るため、受託事業として文化ホールでのコンサート等と美術館での展覧会を実施いたしました。また、ツイッターやフェイスブックなど新たな情報発信の取り組みを開始しました。

文化ホールでは、厳しい財政状況の中でも自主事業 40 事業、区からの受託事業 3 事業、指定管理事業 1 事業を実施するとともに、共催事業も活用しながら区民へ多くの鑑賞等の機会を提供し、例年と同規模の事業展開をすることができました。

なお、昨年度と同様、事業の実施に当たっては、主催・共催ともに各年代層の要望に沿っていることや公演ジャンルが偏らないことなどに留意し、より幅広い年代層の集客を目指しながら、区民参加や地域に根差した事業の展開を念頭に企画し実施しました。

主催による鑑賞事業は、財団自主財源を活用し、幅広い年代層に支持されている「新春落語」や、美術館の村野藤吾展の関連イベントとしての「ミュージアムコンサート」を美術館で、「庁舎コンサート」を区総合庁舎エントランスホールで実施しました。またトリオフロムクオシモードによるスタンダード・ジャズのコンサートを実施しました。

地域の芸術文化・支援事業では、前年度に引き続き、区補助金を充当して「避難訓練コンサート」を行い、これに合わせて共助の力を高める防災ワークショップを実施しました。その他、地域の団体である(公財)北野生涯教育振興会と共催し、公募の区民による合唱団が出演する「ヤマタノオロチ」のオペラコンサートを実施しました。

学習・練習事業では、区補助金を充当しながら鑑賞や実演指導を行う事業に取り組みました。その中で、ワークショップ事業は中高生を対象にした「パレットプログラム」のほか、大人のための「演劇」と「ダンス」を実施しました。アーティストを派遣する「アウトリーチプログラム」は、従来から行っている区立小中学校や東京医療センターに加えて、初めて区立特別養護老人ホーム 3 施設でも実施しました。

受託事業では、「文化祭」や「めぐろアートウイーク」、「東日本大震災復興支援コンサート」の 3 事業を実施しました。特に東日本大震災復興支援コンサートは、震災の発生から 5 年を迎えるにあたり、震災を風化させることなく友好都市の復興を引き続き支

援するための事業で、気仙沼市民吹奏楽団の参加を得て行った復興支援コンサートの実施に合わせて復興の様子のパネル展や物産展を開催しました。

その他自主財源を活用した指定管理事業として、区内にスタジオのあるタップダンスによる公演を行い、公募で選ばれたタップダンスのワークショップ参加者も公演の一部に参加しました。

一方、引き続き貸館事業にも力を注ぎ、窓口サービスの向上に努めながら、始業・終業時における日常点検や定期的な保守点検を実施するなど、利用者に安全で安心して利用していただくよう心掛けて施設を提供しました。

なお、小ホールの利用率は昨年度より若干減少しているものの、大ホールの利用率は昨年度と比較して約1割程度増加し、利用料金値上げ前の利用水準に戻っています。

美術館では、文化ホール同様、厳しい財政状況を踏まえた運営を行いました。

展覧会事業は、4展開催しました。このうち自主事業展覧会として外部機関との連携協力を得た「新潟市美術館の名品たち展」と「村野藤吾の建築展」の2展、指定管理事業として「めぐろの子どもたち展」、また、区からの受託事業として震災後5年を機に「気仙沼と、東日本大震災の記憶展」を開催しました。なお、平成27年10月から翌年1月にかけて空調設備改修工事があったため、例年の指定管理事業としての所蔵作品展の開催は行えませんでした。年間入館者数は合計37,618人で、目標の27,000人に対し10,618人、約39%上回りましたが、前年度48,197人と比べて10,579人下回ったのは、工事に伴う休館の影響によるものです。

教育普及事業は、展覧会に関連したワークショップとして「建築教室」を夏に、「美術の基本」を春に開催したほか、区総合庁舎建築ガイドツアーや講演会、区内小学生を対象としたギャラリーツアーなど幅広い年齢層に向けた多彩な事業を実施しました。庁舎ツアーや講演会事業では定員を超える応募があり、また、参加者からは、次回も参加したいなど好評の感想をいただきました。

指定管理事業である作品の保管・活用は、所蔵作品の修復や来る30周年に備えて棚卸やデータ変換を実施したほか、他美術館12館へ計80点の貸出しを行いました。

区民ギャラリーの貸出しは、メンテナンス等に要する期間を除き、86.9%（26年度は96.3%）と抽選時の半面申込みにより残り半面が未利用となった結果、やや利用率は下がりましたが、可動壁の一部軽量化や展示台収納箱を新たにカラー表示して出し入れしやすくするなど、安全性、利便性の向上に努めました。

その他、地域の芸術文化振興の一環として、区展及び目黒区写真美術協会をはじめとする区内4美術団体の展覧会の開催に協力しました。

空調設備改修工事は平成27年10月5日から28年1月15日までの間で予定どおり完了し、区や関係者と調整の結果、工事中の全館空調停止は1日のみに留まり、作品の収蔵環境への影響はありませんでした。

収益事業は、工事休館による入館者数の減に伴い、ラウンジの売り上げ等が下回りましたが、夏シーズンには、例年通りメニューに冷たい炭酸飲料を加え、利用者から好評を得ました。ラウンジの利用について、平成26年4月から展覧会を鑑賞する方以外の方も利用できるようにしており、27年度は106日間、延べ268人で、一日当りの平均利用者数は前年度の約2.0人から約2.4人に微増となりました。

今後とも、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、区民をはじめ利用者の立場に立った運営を心掛け、一層親しみを感じていただくなど、より区民に愛され必要とされる施設を目指して取組んでまいります。

平成 27 年度 目黒区文化ホール事業報告

第1 自主事業 (定款第 4 条第 1 項第 1 号)

1 鑑賞事業

(1) 主催事業 (3 事業=4 公演)

No.	内容	
1 ①	公演名	目黒区美術館「村野藤吾の建築」展 関連イベント ミュージアムコンサート
	公演日	平成 27 年 8 月 7 日 (金)
	会場	目黒区美術館
	料金等	全席自由 : 1,500 円
	入場者	62 人【完売】
	概要	目黒区美術館の展覧会「村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界」の会期中の閉館後に実施したミュージアムコンサート。 3 人のサクソ奏者が本公演のために書き下ろした新曲を含むバラエティに富んだプログラムを演奏した。
1 ②	公演名	目黒区美術館「村野藤吾の建築」展 関連イベント 庁舎コンサート
	公演日	平成 27 年 9 月 13 日 (日)
	会場	目黒区総合庁舎エントランスホール
	料金等	入場無料
	入場者	200 人
	概要	ミュージアムコンサートのチケットが早々に完売したため、村野藤吾の建築である目黒区総合庁舎のエントランスホールで同じ出演者によるコンサートを行った。
2	公演名	林家木久扇・三遊亭好楽・林家たい平 新春爆笑三人会
	公演日	平成 28 年 1 月 8 日 (金)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 S 席 3,500 円 A 席 3,000 円
	入場者	630 人
	概要	新春恒例の落語公演。協賛として頂いたお菓子を抽選で、入場者に配布した。 【協賛：自由が丘 蜂の家】



3	公演名	TRIO from quasimode	
	公演日	平成 28 年 3 月 5 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,000 円 区民割引：1 割引	
	入場者	191 人【完売】	
概要	日本のクラブジャズシーンを席卷した「quasimode (クオシモード)」のメンバーによるピアノ・トリオ公演。協賛として頂いた飲み物を 1 ドリンクとして、入場者に配布した。【協賛：サッポロホールディングス】		

(2) 共催事業 (13 事業=42 公演)

No.	内容		
1	公演名	柳の家の三人会	
	公演日	平成 27 年 4 月 13 日 (月)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,075 人	
概要	柳家一門 (柳家花緑、柳家喬太郎、柳家三三) による落語公演。		
2	公演名	魂の津軽三味線 高橋竹童	
	公演日	平成 27 年 5 月 9 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定：3,500 円	
	入場者	187 人	
概要	サウンドポート主催による津軽三味線の第一人者 高橋竹山の最後の内弟子、高橋竹童による公演。		

3	公演名	柳家小三治一門会	
	公演日	平成 27 年 8 月 16 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,800 円 A 席 3,300 円	
	入場者	1,160 人	
	概要	柳家小三治一門 (柳家小三治、柳家はん治ほか) による落語公演。	
4 ① ②	公演名	めぐろバレエ祭り 「東京バレエ学校 スクールパフォーマンス 第 1 部 未就学生徒によるパフォーマンス 第 2 部 小学生～高校生によるパフォーマンス」	
	公演日	平成 27 年 8 月 20 日 (木)	
	会場	大ホール	
	料金等	第 1 部 : 入場無料 第 2 部 : 大人 1,000 円 高校生以下 500 円	
	入場者	第 1 部 : 708 人 第 2 部 : 1,051 人	
概要	東京バレエ学校の生徒による公演。		
4 ③ ④	公演名	めぐろバレエ祭り 「一緒に踊ってみよう！はじめてのバレエ」	
	公演日	①平成 27 年 8 月 21 日 (金) ②平成 27 年 8 月 22 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込制)	
	入場者	①36 人 (定員 40 名) ②35 人 (定員 40 名)	
	概要	3 歳～6 歳のバレエ未経験の男女を対象にしたワークショップ。	

4 ⑤ ⑥	公演名	めぐろバレエ祭り 「一緒に踊ってみよう！もっと上手に！」	
	公演日	①平成 27 年 8 月 21 日（金） ②平成 27 年 8 月 22 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（事前申込制）	
	入場者	①36 人（定員 40 名） ②34 人（定員 40 名）	
概要		バレエ歴 1 年以上の小学校 1 年生～ 3 年生の男女を対象にしたワークショップ。	
4 ⑦	公演名	めぐろバレエ祭り 「大人のための、はじめてのバレエ」	
	公演日	平成 27 年 8 月 21 日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費:2,000 円	
	入場者	21 人（定員 40 名）	
概要		バレエ未経験の 20 歳以上の女性を対象にしたワークショップ。	
4 ⑧	公演名	めぐろバレエ祭り 「チャコットプレゼンツ トゥーシューズ を知ろう！+ティアラをつくろう！」	
	公演日	平成 27 年 8 月 21 日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：3,000 円	
	入場者	44 人（定員 50 名）	
概要		プロの職人によるトゥーシューズが出来上がるまでの実演や、ティアラを作るワークショップ。	

4 ⑨	公演名	めぐろバレエ祭り 新書館「ダンシン」プレゼント 踊りたい人集まれ！ BALLET⇔HIPHOPダブルレッスン	
	公演日	平成 27 年 8 月 21 日 (金)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：2,000 円	
	入場者	39 人 (定員 40 名)	
	概要	小学生以上の男女を対象とした、バレエとヒップホップ両方を体験できるレッスン。	
4 ⑩	公演名	めぐろバレエ祭り 「東京バレエ団 公開レッスン」	
	公演日	平成 27 年 8 月 22 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	405 人	
	概要	東京バレエ団のダンサーが日常行っているクラス・レッスンを特別に公開した。	
4 ⑪ ⑭	公演名	めぐろバレエ祭り 「バレエダンサーと写ろう！」	
	公演日	①②平成 27 年 8 月 22 日 (土) 全 2 回 ③④平成 27 年 8 月 23 日 (日) 全 2 回	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	公演来場者対象	
	入場者	各回 130 人	
	概要	大ホールのホワイエにパネルを設置し、その前で王子様、お姫様に扮したダンサーと一緒に写真撮影ができるイベント。	

4 ⑮ ⑯	公演名	めぐろバレエ祭り 「東京バレエ団 子どものためのバレエ 『ドン・キホーテの夢』（新制作）」	
	公演日	①②平成 27 年 8 月 22 日（土） 11 時 30 分 / 15 時	
	会場	大ホール	
	料金等	S 席 5,000 円 A 席 4,000 円 高校生以下 S 席 2,500 円 A 席 2,000 円	
	入場者	1 回目 : 1,088 人 2 回目 : 1,124 人	
概要		東京バレエ団による子どもためのバレエ「ドン・キホーテの夢」（新制作）。劇中、キャラクターのサンチョ・パンサによるお話が入り、初めての方にも楽しめる公演。	
4 ⑰ ⑱	公演名	めぐろバレエ祭り 「東京バレエ団 子どものためのバレエ 『ねむれる森の美女』」	
	公演日	①②平成 27 年 8 月 23 日（日） 13 時 / 16 時	
	会場	大ホール	
	料金等	S 席 5,000 円 A 席 4,000 円 高校生以下 S 席 2,500 円 A 席 2,000 円	
	入場者	1 回目 : 1,123 人 2 回目 : 1,115 人	
概要		子どもも大人も一緒に楽しめる工夫が施された、東京バレエ団オリジナルバージョンである「ねむれる森の美女」の公演。	
4 ⑲	公演名	めぐろバレエ祭り 「小林十市さん 公開レッスン」	
	公演日	平成 27 年 8 月 22 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 5,000 円、見学無料	
	入場者	26 人（定員 30 名）	
概要		元モーリス・ベジャール・バレエ団の小林十市が直接指導する公開レッスン。対象は、中学 1 年生から 20 歳までのバレエ歴 5 年以上の男女。	

4 ⑳	公演名	めぐろバレエ祭り 新書館「クロワゼ」プレゼント 「ラ・バヤデール」を踊ろう！	
	公演日	平成 27 年 8 月 22 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：8,000 円	
	入場者	39 人（定員 40 名）	
	概要	バレエレッスンに加え、「ラ・バヤデール」の“影の王国”のコール・ド・バレエ（群舞）も参加できるワークショップ。対象は、20 歳以上の女性（目安としてバレエ経験 3 年以上）。	
4 ㉑	公演名	めぐろバレエ祭り 「お父さんといっしょ」	
	公演日	平成 27 年 8 月 23 日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：無料（事前申込制）	
	入場者	13 組 26 人（定員 15 組 30 名）	
	概要	昨年大好評だった、子どもとお父さんのためのワークショップ。 対象は、小学 1 年生から 3 年生の男女とその父親（バレエ経験問わず）。	
4 ㉒ ㉓	公演名	めぐろバレエ祭り 「スーパーバレエ MIX BON 踊り」	
	公演日	①②③④平成 27 年 8 月 23 日（日） 14 時 30 分 / 15 時 / 16 時 30 分 / 17 時 30 分	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	①195 人 ②175 人 ③138 人 ④206 人 （のべ人数）	
	概要	小林十市の振付と指導による、バレエの簡単な動きを組み合わせたオリジナル盆踊り。	

5 ① ② ③	公演名	桜美林大学プルヌスホールプロデュース ／市民参加企画 「群読音楽劇 銀河鉄道の夜 2015」	
	公演日	①②平成 27 年 8 月 30 日（日）13 時/18 時 ③平成 27 年 8 月 31 日（月）14 時	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 一般 1,200 円 学生 1,000 円 （当日券は 300 円増）	
	入場者	①114 人 ②111 人 ③114 人 （客席変形のため、定員 150 名設定）	
概要		公募により選ばれた桜美林大学学生と市民参加者による朗読音楽劇。桜美林大学プルヌスホールで行っていた演劇公演を当ホールで実施した。	
6 ① ②	公演名	高木正勝コンサート 2015 ～山咲み yamaemi～	
	公演日	①平成 27 年 9 月 22 日（火・休） ②平成 27 年 9 月 23 日（水・祝）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 前売り 5,500 円 当日 6,000 円	
	入場者	①1,076 人 ②1,071 人	
概要		音楽家で映像作家である高木正勝の当ホール 5 年ぶりとなるコンサート。	
7	公演名	三遊亭円楽・春風亭昇太 二人会	
	公演日	平成 27 年 11 月 7 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,100 人【完売】	
概要		三遊亭円楽、春風亭昇太による落語公演。	

8	公演名	ジャズピアニスト 山中千尋のラグタイム	
	公演日	平成 27 年 11 月 8 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 6,000 円、A 席 5,000 円 区民 S 席 5,500 円、A 席 4,500 円	
	入場者	774 人	
	概要	J A Z Z ピアニスト・山中千尋のトリオコンサート。メジャーデビュー 10 周年を記念した全国ツアーの最終公演。	
9 ① ②	公演名	THE PIANO ERA 2015 (ザ・ピアノエラ 2015)	
	公演日	①平成 27 年 11 月 28 日 (土) ②平成 27 年 11 月 29 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 前売券 6,800 円 当日 7,800 円 2 日通し券 13,000 円	
	入場者	①1,023 人 ②578 人	
	概要	クラシックやジャズなどのジャンルにこだわらず、国内外で活躍するピアニストを集め、2 年ぶりに実施した。	
10	公演名	ロシア国立サンクトペテルブルグアカデミーバレエ～レオニード・ヤコブソン記念～「くるみ割り人形」全 3 幕	
	公演日	平成 27 年 12 月 23 日 (水・祝)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 7,500 円 A 席 5,000 円	
	入場者	1,119 人	
	概要	ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエによる公演。	

11	公演名	新春！デキシーランド・ジャズ・ジャンボリー vol.8	
	公演日	平成28年1月9日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席5,000円 A席4,500円	
	入場者	1,065人	
概要	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるビッグバンドジャズコンサート。出演は、北村英治、有馬靖彦とデキシージャイブ、デキシーキャッスル、中川喜弘とデキシーサミットほか。		
12 ① ②	公演名	TOKYO FM 夢のゴスペルコンサート vol.3	
	公演日	平成28年1月23日(土) (全4回ワークショップあり)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般3,500円 小・中学生1,000円	
	入場者	来場者：787人 ゴスペル参加者：70人(定員100名)	
概要	TOKYO FM 及びムジカキアラ主催によるゴスペルコンサート。市民参加型のワークショップを全4回実施し、本番はプロのアーティストと一緒にゴスペル曲をステージで披露した。コンサートの模様は TOKYO FM で放送された。		
13	公演名	稲垣潤一コンサート 2016	
	公演日	平成28年2月13日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般5,800円 小中高生1,000円	
	入場者	1,013人	
	概要	シンガーソングライターである稲垣潤一によるコンサート。	

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業 (3 事業=6 公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	避難訓練コンサート	
	公演日	平成 27 年 9 月 29 日 (火)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	107 人	
	概要	<p>今年度で4回目となる避難訓練コンサート。今回は、震度6の地震の後、屋外に避難する想定で実施した。 協賛として頂いた飴の無料配布を行った。【協賛：サクマ製菓（株）】</p>	
1 ②	公演名	防災コミュニケーション ワークショップ	
	公演日	平成 27 年 9 月 29 日 (火)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	無料	
	入場者	参加者：40 人（定員 50 名）	
	概要	<p>防災に不可欠な共助力をテーマに、コミュニケーション能力を高めるワークショップ。 講師：わたなべなおこ、森内美由紀、折原アキラ（NPO法人PAVLIC）</p>	
2 ①	公演名	未来の音シリーズ vol.22 毛利文香（ヴァイオリン）	
	公演日	平成 27 年 12 月 12 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 2,500 円	
	入場者	186 人【完売】	
	概要	<p>若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。 2012 年第 8 回ソウル国際音楽コンクールで日本人初の史上最年少優勝、2015 年第 54 回パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第 2 位受賞など、新進気鋭のヴァイオリニスト、毛利文香によるコンサート。</p>	

2 ②	公演名	未来の音シリーズ vol.23 上野通明 (チェロ)	
	公演日	平成 28 年 1 月 17 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 2,500 円	
	入場者	191 人【完売】	
	概要	若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。 2009 年 13 歳で第 6 回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールにて日本人初の優勝、2014 年第 21 回ヨハネス・ブラームス国際コンクール第 1 位受賞など、新進気鋭のチェリスト、上野通明によるコンサート。	
2 ③	公演名	未来の音シリーズ vol.24 岡田奏 (ピアノ)	
	公演日	平成 28 年 2 月 21 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 2,500 円	
	入場者	135 人	
	概要	若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。 8 歳でリサイタルデビュー、14 歳でパリ国立高等音楽院ピアノ科に首席合格し、渡仏。数々のコンクールで受賞している新進気鋭のピアニスト、岡田奏によるコンサート。 協賛として頂いたお菓子を入場者に配布した。【協賛：(株) マッターホーン】	
3	公演名	フレッシュ名曲コンサート めぐろパーシモンホール 春のコンサート	
	公演日	平成 28 年 3 月 12 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 4,000 円 A 席 3,000 円 B 席 2,000 円 学生割引：各席 500 円引き	
	入場者	757 人	
	概要	東京都歴史文化財団との共同主催。区民にクラシック音楽を親しんでもらうことや若手新進演奏家をソリストに起用し、活動を支援することを目的としたコンサート。 【助成】東京都歴史文化財団 【指揮】山下一史【ソリスト】山根一仁 (ヴァイオリン)、上野通明 (チェロ) 【管弦楽】新日本フィルハーモニー交響楽団	

(2) 共催事業 (16 事業=20 公演)

No.	内容		
1	公演名	目黒区東山オーケストラ 第 21 回定期演奏会	
	公演日	平成 27 年 4 月 12 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	1,000 人	
	概要	目黒区立東山小学校特設管弦楽クラブと、そのOB・OGによるオーケストラ公演を実施した。	
2 ① ②	公演名	東京インターアーツ目黒 和草コンサート	
	公演日	①②平成 27 年 5 月 16 日 (土) 14 時 / 18 時 30 分	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	全席自由 : 3,000 円	
	入場者	1 回目 : 85 人 2 回目 : 58 人	
	概要	今までバレンタインデーの日に公演を実施し、初めて5月に開催する東京インターアーツ目黒主催によるコンサート。	
3	公演名	ヤマハ目黒吹奏楽団 第 35 回定期演奏会	
	公演日	平成 27 年 6 月 14 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	997 人	
	概要	目黒区で活動しているヤマハ目黒吹奏楽団主催による第 35 回定期演奏会。	

4	公演名	目黒区民交響楽団 第 81 回定期演奏会	
	公演日	平成 27 年 6 月 21 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	997 人	
	概要	目黒区で活動している目黒区民交響楽団主催による第 81 回定期演奏会。	
5	公演名	東京新聞全国舞踊コンクール 上位入賞者による 「第 32 回アンコール公演」	
	公演日	平成 27 年 6 月 27 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,500 円 当日 2,800 円	
	入場者	800 人	
	概要	東京新聞主催による全国舞踊コンクールの上位入賞者(第 72 回東京新聞全国舞踊コンクール各部門 3 位までの入賞者他)による公演。	
6	公演名	第 62 回東京新聞児童舞踊合同公演	
	公演日	平成 27 年 6 月 28 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,000 円	
	入場者	900 人	
	概要	東京新聞主催の児童舞踊部門の合同公演。	

7	公演名	東京マンドリン宮田楽団 第134回定期演奏会	
	公演日	平成27年7月5日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料、招待券(事前申込)	
	入場者	1,066人	
	概要	目黒区で活動している東京マンドリン宮田楽団による定期演奏会。	
8	公演名	第13回パーシモンほたる祭り	
	公演日	平成27年7月12日(日)	
	会場	大ホール、小ホール、 めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者7,400人 (ホテル観賞1,600人含む)	
	概要	周辺の小・中・高・大学や町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による事業。器楽演奏、ダンス、模擬店等。	
9 ① ②	公演名	伝統文化「狂言」に親しむ	
	公演日	第1回：平成27年7月24日(金) 第2回：平成27年7月31日(金)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	参加費 一般1,000円 会員800円	
	入場者	①67人(定員80名) ②69人(定員80名)	
	概要	(公財)北野生涯教育振興会主催の「身近な場所で日本の伝統文化に親しむ」シリーズ。能・狂言・文楽・歌舞伎・雅楽・能に続き、今年は狂言を行った。	

10	公演名	第 22 回めぐろ童謡コンサート	
	公演日	平成 27 年 10 月 11 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 前売券 800 円/当日券 1,000 円	
	入場者	900 人	
概要	童謡の里めぐろ保存会主催による童謡コンサート。出演者は、佐藤由里亜、河口三千代ほか。		
11	公演名	目黒ユネスココンサート 2015 次世代への平和と文化のメッセージ	
	公演日	平成 27 年 11 月 13 日 (金)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 一般 3,500 円 ペア券：5,000 円 学生 2,000 円	
	入場者	500 人	
概要	目黒ユネスコ協会主催によるクラシックコンサート。出演は、DUO GRACE (高橋多佳子、宮谷理香 とともにピアノ)。		
12	公演名	身体で聴こう音楽会 第 228 回定期演奏会	
	公演日	平成 27 年 12 月 20 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	148 人	
概要	パイオニア株式会社主催による、聴覚障害者向けのクリスマスコンサート。障害を持つ方のために、音を振動に変える体感音響システムを使用した。		

13 ① ②	公演名	(公財) 北野生涯教育振興会創立 40 周年 記念公演 オペラ ヤマトノオロチ	
	公演日	平成 28 年 3 月 6 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	1,001 人	
	概要	(公財) 北野生涯教育振興会創立 40 周年の記念公演として、第 1 部は女流講談師による講談と、目黒区内の小学生の合唱を行うとともに、第 2 部で創作オペラ「ヤマトノオロチ」を公演した。合唱団は公募し、全 30 回にわたる練習を行った。	
14 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2016	
	公演日	①②平成 28 年 3 月 19 日 (土) 11 時 / 14 時 30 分	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 (3 歳以上) 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円	
	入場者	1 回目 : 150 人 2 回目 : 180 人	
	概要	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催による親子向けクラシックコンサート。	
15	公演名	めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	平成 28 年 3 月 20 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 一般 : 2,000 円 学生 : 1,000 円	
	入場者	630 人	
	概要	目黒区クラシック音楽家協会主催による、声楽やピアノ、弦楽など協会全員が出演のコンサート。	

16	公演名	東京新聞主催 第73回全国舞踊コンクール	
	公演日	平成28年3月24日(木) ～平成28年4月6日(水)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	のべ5,700人	
	概要	目黒区公会堂開館時から開催され、日本を代表する舞踊家を多数輩出している東京新聞主催の舞踊の全国大会。	

3 学習・練習事業

(1) 主催事業 (5 事業=35 公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 5 月 26 日 (火)	
	会場	目黒区立中目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 97 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：アレクサンドラ・スム (ヴァイオリン) 【制作協力：NPO 法人子どもに音楽を】	
1 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 7 月 7 日 (火)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校	
	入場者	小学 5 年生 40 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：東京バレエ団 氷室友、加藤くるみ、古道貴大、松木慶子 (ピアノ)	
1 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 7 月 10 日 (金)	
	会場	目黒区立五本木小学校	
	入場者	小学 5 年生 38 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：湯浅桃子 (ソプラノ)、藪内俊弥 (バリトン)、大野真由子 (ピアノ) 【協賛：(公財) 北野生涯教育振興会】【制作協力：NPO 法人日本声楽家協会】	

1 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 7 月 10 日 (金)	
	会場	目黒区立田道小学校	
	入場者	小学 5 年生 42 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：湯浅桃子（ソプラノ）、薮内俊弥（バリトン）、大野真由子（ピアノ） 【協賛：（公財）北野生涯教育振興会】【制作協力：NPO 法人日本声楽家協会】	
1 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 7 月 14 日 (火)	
	会場	目黒区立原町小学校	
	入場者	小学 6 年生 37 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：小林武文（パーカッション）、相川瞳（パーカッション）、上原なな江（パーカッション）	
1 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 7 月 16 日 (木)	
	会場	目黒区立大岡山小学校	
	入場者	小学 5 年生 92 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：郷古廉（ヴァイオリン）、津田裕也（ピアノ） 【制作協力：NPO 法人子どもに音楽を】	

1 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 8 月 27 日 (木)	
	会場	目黒区立烏森小学校	
	入場者	小学 5 年生 45 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：小林武文（パーカッション）、相川瞳（パーカッション）、上原なな江（パーカッション）。	
1 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 9 月 14 日 (月)	
	会場	目黒区立第八中学校	
	入場者	中学 2 年生 76 人、特別支援学級 6 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：宮部小牧（ソプラノ）、萩原潤（バリトン）、高田恵子（ピアノ） 【協賛：（公財）北野生涯教育振興会】【制作協力：NPO 法人日本声楽家協会】	
1 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 9 月 25 日 (金)	
	会場	目黒区立宮前小学校	
	入場者	小学 6 年生 62 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：東京バレエ団 氷室友、中川美雪、古道貴大、松木慶子（ピアノ）	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 10 月 2 日 (金)	
	会場	目黒区立第九中学校	
	入場者	中学 1 年生 60 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：鶴木絵里 (ソプラノ)、原田勇雅 (バリトン)、山口佳代 (ピアノ) 【制作協力：NPO 法人日本声楽家協会】	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 10 月 8 日 (木)	
	会場	目黒区立八雲小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 100 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：高橋竹童 (津軽三味線)	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 10 月 20 日 (火)	
	会場	目黒区立菅刈小学校	
	入場者	小学 4、5 年生 67 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：三浦文彰 (ヴァイオリン)、小森谷裕子 (ピアノ) 【制作協力：NPO 法人子どもに音楽を】	

1 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 11 月 19 日 (木)	
	会場	目黒区立中根小学校	
	入場者	小学 4 年生 60 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、渋谷和利 (ベース) 岡本健太 (パーカッション)	
1 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 12 月 9 日 (水)	
	会場	目黒区立上目黒小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 62 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、渋谷和利 (ベース) 岡本健太 (パーカッション)	
1 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 12 月 9 日 (水)	
	会場	目黒区立下目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 47 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、渋谷和利 (ベース) 岡本健太 (パーカッション)	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 12 月 11 日 (金)	
	会場	目黒区立月光原小学校	
	入場者	小学 5 年生 45 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：村田正樹、加藤信行、向澤郁子、千葉優里子 (KAZ TAP STUDIO)	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 1 月 15 日 (金)	
	会場	目黒区立東根小学校	
	入場者	小学 5 年生 102 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：今川裕代 (ピアノ)	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 1 月 18 日 (月)	
	会場	目黒区立鷹番小学校	
	入場者	小学 6 年生 82 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：小林武文 (パーカッション)、相川瞳 (パーカッション)、 上原なな江 (パーカッション)。	

1 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 1 月 19 日 (火)	
	会場	目黒区立不動小学校	
	入場者	小学 5 年生 69 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、鈴木優 (ホルン)、黒木良太 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ)	
1 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 1 月 20 日 (水)	
	会場	目黒区立油面小学校	
	入場者	小学 4 年生 61 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：弓新 (ヴァイオリン)、大須賀恵里 (ピアノ) 【制作協力：NPO 法人子どもに音楽を】	
1 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 1 月 20 日 (水)	
	会場	目黒区立第十中学校	
	入場者	中学 2 年生 111 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演：白石光隆 (ピアノ)、高見信行 (トランペット)	

1 ②②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 2 月 4 日 (木)	
	会場	目黒区立向原小学校	
	入場者	4 年生 43 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演: 田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永重明(ホルン)、古賀光(トロンボーン)、次田心平(チューバ)	
1 ②③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 2 月 16 日 (火)	
	会場	目黒区立駒場小学校	
	入場者	4 年生 60 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演: 柳家小傳次(落語)	
1 ②④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 2 月 23 日 (火)	
	会場	目黒区立碑小学校	
	入場者	6 年生 120 人	
	概要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動。 出演: 鈴木秀太郎(ヴァイオリン)、セイダ・ルガ・鈴木(ピアノ) 【制作協力: NPO 法人子どもに音楽を】	

2 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチプログラム	
	公演日	平成 27 年 11 月 20 日 (金)	
	会場	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	
	入場者	210 人	
	概要	学校以外へのアウトリーチ活動。 出演：目黒区民交響楽団メンバー 横田由美 (ヴァイオリン)、望月邦子 (ヴァイオリン)、田中伊知子 (クラリネット)、橋本安男 (チェロ)、伊藤陽子 (ピアノ)	
2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 1 月 13 日 (水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	
	入場者	60 人	
	概要	学校以外へのアウトリーチ活動。 出演：目黒区民交響楽団メンバー 横田由美 (ヴァイオリン)、望月邦子 (ヴァイオリン)、田中伊知子 (クラリネット・ピアノ)、橋本安男 (チェロ)	
2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 3 月 9 日 (水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	
	入場者	60 人	
	概要	学校以外へのアウトリーチ活動。 出演：目黒区民交響楽団メンバー 横田由美 (ヴァイオリン)、望月邦子 (ヴァイオリン)、油谷伸一 (ヴィオラ)、田中伊知子 (クラリネット・ピアノ)、橋本安男 (チェロ)	

2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチプログラム	
	公演日	平成 28 年 3 月 14 日 (月)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東山	
	入場者	60 人	
	概要	学校以外へのアウトリーチ活動。 出演：目黒区民交響楽団メンバー 横田由美 (ヴァイオリン)、望月邦子 (ヴァイオリン)、油谷伸一 (ヴィオラ)、 田中伊知子 (クラリネット・ピアノ)、橋本安男 (チェロ)	
3 ①	公演名	パーシモン・パレット・プログラム 2015 「演劇」コース 《初心者ワークショップ》	
	公演日	平成 27 年 7 月 5 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費は 1,500 円	
	入場者	参加者 30 人【定員 30 名】	
概要	「演劇」コースの初心者ワークショップ。 対象者：中学生、高校生 講師：平田オリザ (劇作家、演出家) 【助成：(公財) 北野生涯教育振興会】		
3 ②	公演名	パーシモン・パレット・プログラム 2015 「演劇」コース 《経験者ワークショップ》& 発表会	
	公演日	平成 27 年 7 月 28 日 (火) ～8 月 1 日 (土) *最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	・参加費 3,000 円 ・発表会 入場無料	
	入場者	・参加者 20 人【定員 20 名】 ・発表会入場者 62 人	
概要	「演劇」コースの経験者ワークショップ。 対象者：中学生、高校生 講師：山内健司 (俳優) + 大池容子 (劇作家・演出家) 【助成：(公財) 北野生涯教育振興会】		

4	公演名	初めての、大人のためのダンスワークショップ	
	公演日	平成 27 年 11 月 8 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円	
	入場者	31 人【定員 50 名】	
	概要	ダンス未経験者の方等、初めてダンスに触れる方を対象にした大人のためのダンスワークショップ。講師は、SAM (TRFダンサー) 協賛として頂いた清涼飲料水を参加者へ配布した。【協賛：(株) アペックス】	
5 ① ③	公演名	大人の演劇ワークショップ 朗読パフォーマンス マイライフ・マイステージ	
	公演日	平成 27 年 11 月 15 日 (日) (全 6 回のワークショップあり)	
	会場	小ホール・リハーサル室・第一練習室	
	料金等	・参加費：1,500 円 ・発表会：500 円	
	入場者	・来場者：①69 人 ②60 人 ・ワークショップ参加者：20 人 【定員 20 名】	
	概要	大人のための演劇ワークショップ。全 6 回のワークショップを経験し、2 回の発表会に出演する朗読パフォーマンス。講師は、能祖将夫 (桜美林大学芸術文化学群准教授・北九州芸術劇場プロデューサー)、竹村浄子 (ピアノ)、井上大輔 (ダンス)、藤井友美 (ダンス)。	

※ 平成 27 年度 アウトリーチプログラムの内訳(小学校:21、中学校:3、学校以外:4)

No	日付	施設名	参加者	出演者
1	5月26日(火)	中目黒小学校	6年生 97人	アレクサンドラ・スム(ヴァイオリン)
2	7月7日(火)	緑が丘小学校	5年生 40人	東京バレエ団ダンサー 氷室友、加藤くるみ、古道貴大、 ピアニスト:松木慶子
3	7月10日(金)	五本木小学校	5年生 38人	湯浅桃子(ソプラノ)、藪内俊弥(バリトン)、 大野真由子(ピアノ)
4	7月10日(金)	田道小学校	5年生 42人	湯浅桃子(ソプラノ)、藪内俊弥(バリトン)、 大野真由子(ピアノ)
5	7月14日(火)	原町小学校	6年生 37人	小林武文、相川瞳、上原なな江(パーカッ ション)
6	7月16日(木)	大岡山小学校	5年生 92人	郷古廉(ヴァイオリン)、津田裕也(ピアノ)
7	8月27日(木)	烏森小学校	5年生 45人	小林武文、相川瞳、上原なな江(パーカッ ション)
8	9月14日(金)	第八中学校	2年生 82人	宮部小牧(ソプラノ)、萩原潤(バリトン)、高 田恵子(ピアノ)
9	9月25日(金)	宮前小学校	6年生 62人	東京バレエ団ダンサー 氷室友、加藤くるみ、古道貴大、 ピアニスト:松木慶子
10	10月2日(金)	第九中学校	1年生 60人	鶴木絵里(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、 山口佳代(ピアノ)
11	10月8日(木)	八雲小学校	5, 6年生 100人	高橋竹童(津軽三味線)
12	10月20日(火)	菅刈小学校	4, 5年生 67人	三浦文彰(ヴァイオリン) 小森谷裕子(ピアノ)
13	11月19日(木)	中根小学校	4年生 60人	熱帯 JAZZ メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピ アノ)、渋谷和利(ベース)、岡本健太(パー カッション)
14	11月20日(金)	東京医療 センター	210人	目黒区民交響楽団メンバー 横田由美(ヴァイオリン)、望月邦子(ヴァイ オリン)、田中伊知子(クラリネット)、橋本安 男(チェロ)、伊藤陽子(ピアノ)
15	12月9日(水)	上目黒小学校	5, 6年生 62人	熱帯 JAZZ メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピ アノ)、渋谷和利(ベース)、岡本健太(パー カッション)
16	12月9日(水)	下目黒小学校	6年生 47人	熱帯 JAZZ メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピ アノ)、渋谷和利(ベース)、岡本健太(パー カッション)
17	12月11日(金)	月光原小学校	5年生 45人	Kaz Tap Studio 村田正樹、加藤信行、向澤郁子、千葉優里 子
18	1月13日(水)	特別養護老人 ホーム中目黒	60人	目黒区民交響楽団メンバー 横田由美(ヴァイオリン)、望月邦子(ヴァイ オリン)、田中伊知子(クラリネット、ピアノ) 橋本安男(チェロ)

No	日付	施設名	参加者	出演者
19	1月15日(金)	東根小学校	5年生 102人	今川裕代(ピアノ)
20	1月18日(月)	鷹番小学校	6年生 82人	小林武文、相川瞳、上原なな江(パーカッション)
21	1月19日(火)	不動小学校	5年生 69人	原田照久(トランペット)、金丸響子(トランペット)、鈴木優(ホルン)、黒木良太(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
22	1月20日(水)	第十中学校	2年生 111人	白石光隆(ピアノ)、高見信行(トランペット)
23	1月20日(水)	油面小学校	4年生 61人	弓新(ヴァイオリン)、大須賀恵里(ピアノ)
24	2月4日(木)	向原小学校	4年生 63人	田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永重明(ホルン)、古賀光(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
25	2月16日(火)	駒場小学校	4年生 60人	柳家小傳次(落語)
26	2月23日(火)	碑小学校	6年生 120人	鈴木秀太郎(ヴァイオリン)、セイガ・ルガ・鈴木(ピアノ)
27	3月9日(水)	特別養護老人ホーム東が丘	60人	目黒区民交響楽団メンバー 横田由美(ヴァイオリン)、望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、田中伊知子(クラリネット、ピアノ)、橋本安男(チェロ)
28	3月14日(月)	特別養護老人ホーム東山	60人	目黒区民交響楽団メンバー 横田由美(ヴァイオリン)、望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、田中伊知子(クラリネット、ピアノ)、橋本安男(チェロ)

4 芸術文化情報の収集と発信

地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行やホームページ及び情報コーナーを活用しながら他施設の公演情報の紹介、関連書籍の閲覧など芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1) 情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.52 夏号	平成 27 年 7 月 5 日	70,000 部	あり(63,000 部)
VOL.53 秋号	平成 27 年 10 月 4 日	70,000 部	あり(63,000 部)
VOL.54 冬号	平成 28 年 1 月 5 日	70,000 部	あり(63,000 部)
VOL.55 春号	平成 28 年 3 月 27 日	70,000 部	あり(63,000 部)

(2) 広報事業

各公演やワークショップ等の広報については、当ホールホームページ、めぐろ区報、目黒区ホームページに掲載するとともに、区内施設や商店街等にチラシを配布したり、ポスター掲示を依頼している。

また、新たな取り組みとして、ツイッター等を導入した。さらに、目黒区勤労者サービスセンターニュースなどの一部媒体を活用し、暫定的にチケット料金を値下げし、公演チケットの販売促進に努めた。

なお、チケットシステムの会員登録者に事業の情報をメールマガジンとして配信している。

文化ホールでは、学校等のアウトリーチ活動や地域のほたる祭りへの参加等、多様な芸術文化振興の事業展開に努めている。その取り組みについては、区民キャンパスプラザ 1 階の掲示板にアウトリーチ事業の報告を掲示して利用者に周知を図ったり、情報紙アートレター vol.55 で、アウトリーチやワークショップ等の事業報告及び来年度の事業計画を掲載するなど、情報の周知をさらに深めることに努めた。

以下、財団主催事業のうち一部事業について周知方法を紹介する。

事業名	有料広告	無料掲載 (新聞・放送等)
フレッシュ名曲コンサート	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日新聞、毎日新聞、東京新聞 ●他ホールコンサートにおけるチラシ配布委託 ●クラシック音楽情報誌「ぶらあぼ」「モーストリークラシック」 ●メールマガジンの活用 ●都立大学駅前ポスター掲示委託 ●駅貼り広告(中目黒駅、学芸大学駅、自由が丘駅) 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日新聞 ●オケ専(web) ●カンフェティ ●センターニュース ●チラシの配布 (他館、近隣図書館、楽器店、CD ショップ音楽教室、音楽大学等)
熊谷和徳&Kaz Tap Company Tap into the Light — in Tokyo	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日新聞、読売新聞 ●クラシック音楽情報誌「ぶらあぼ」 ●他ホールにおけるチラシ配布委託 ●都立大学駅前ポスター掲示委託 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日新聞 ●日経レディ東京 ●カンフェティ ●ぼけかる倶楽部(旅行専門 web)

<p>東日本復興支援 コンサート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日新聞、読売新聞、毎日新聞 ●都立大学駅前ポスター掲示委託 ●物産展チラシ新聞折込 	<ul style="list-style-type: none"> ●東急電鉄全線各駅におけるモニター表示 ●FM ラジオ J-WAVE 生出演告知 ●毎日新聞、東京新聞 ●yahoo ニュース地域版、自由が丘経済新聞、月刊ピアノ ●全国公立文化施設協会 SNS ●気仙沼市 SNS ●目黒区内小中学校全校配布 ●目黒区観光まちづくり協会 SNS
--------------------------	---	--

5 その他

(1) ホールの協賛等の運営

①賛助会

ホールの賛助会については、景気低迷の影響を受け、法人会員の辞退が相次いだため、昨年度、個人会員の賛助会費を 10,000 円から 3,000 円に減額した。昨年度は 39 社、個人会員 53 人、計 112.1 万円の収入に対し、今年度は 32 社、個人会員 38 人、計 98.1 万円の収入となり、前年度より 14 万円減収になった。

②協賛

企業も芸術文化の担い手であり、以下のとおり、各企業と協力関係を構築することができた。

事業名	協賛企業	協賛内容
林家木久扇・三遊亭好楽・林家たい平 新春爆笑三人会	昭和製菓(株)自由が丘蜂の家	お菓子
避難訓練コンサート	サクマ製菓(株)	避難用の飴
大人のためのダンスワークショップ	(株)アペックス	清涼飲料水
未来の音シリーズ vol.24 岡田奏(ピアノ)	(株)マッターホーン	お菓子
TRIO from quasimode	サッポロホールディングス	ドリンク

(2) 地域と連携した顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成 21 年度より当初 15 店舗の協力で開始した。この制度は「パーシモンおでかけマップ」に記載されているお店に財団主催または共催事業のチケットを持参すれば、各店舗がサービスの特典を与えるものである。昨年度は 1 店舗の新規開拓ができた結果、1 店舗増え、現在 24 店舗の協力を受けている。また、これらの店舗では、ホールのチラシやポスターの掲示にも協力して頂いている。

第2 受託事業

1 芸術文化事業(定款第4条第1項第2号)

(1)受託事業(3事業=20公演) *目黒区の委託を受け、各事業を実施した。

No.	内容		
1 ① ⑬	公演名	第50回 目黒区文化祭	
	公演日	平成27年4月4日(土) ～平成27年11月7日(土)	
	会場	めぐろパーシモンホール 目黒区美術館区民ギャラリー 区民センターホール	
	料金等	入場無料	
	概要	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施し、各芸術文化団体の活動を支援した。今年度で第50回目を迎え、式典を自主グループ(発表)の日に実施した。	

【内訳】

No.	月日	施設名	公演名	来場者
①	4月4日(土)～5日(日)	美術館区民ギャラリー	華茶道展	550人
②	4月19日(日)	大ホール	自主グループ(発表)	450人
③	4月22日(水)～26日(日)	美術館区民ギャラリー	自主グループ(展示)	297人
④	5月9日(土)	大ホール	邦楽演奏会	435人
⑤	5月17日(日)	大ホール	民踊まつり	130人
⑥	5月17日(日)	小ホール	謡曲大会	131人
⑦	5月31日(日)	大ホール	吟剣詩舞道大会	300人
⑧	10月3日(土)	大ホール	合唱祭	600人
⑨	10月18日(日)	大ホール	洋舞祭	750人
⑩	10月18日(日)	区民センターホール	民謡大会	250人
⑪	10月24日(土)	大ホール	音楽祭	600人
⑫	11月1日(日)	大ホール	日本舞踊大会	420人
⑬	11月7日(土)	小ホール	演劇祭	129人

2 ① ②	公演名	めぐろアートウィーク 音楽と美術のワークショップ第4回 CDジャケットをデザインする	
	公演日	平成27年10月17日(土)、24日(土)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	料金等	参加費2,000円(中学生以上)	
	入場者	18人参加(定員20名)	
	概要	目黒区美術館との共同事業。講師 色部義昭(グラフィックデザイナー・アートディレクター)、高田唯(グラフィックデザイナー・アートディレクター)、秋岡陽(音楽史・フェリス女学院大学学長)による「CDジャケットをデザインする」と題した全2回のワークショップ。	
2 ③	公演名	めぐろアートウィーク 旧前田家本邸洋館サロンコンサート	
	公演日	平成27年10月18日(日)	
	会場	旧前田家本邸洋館	
	料金等	全自由席500円(小学生以上)	
	入場者	72人【完売】	
	概要	目黒区駒場にある旧前田家本邸洋館での、嘉目真木子(ソプラノ)・武田朋子(ピアノ)によるコンサート。	
2 ④	公演名	めぐろアートウィーク 「親子で楽しむキラキラ金管五重奏 ～楽器体験もできるよ」	
	公演日	平成27年10月31日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	大人1,000円 子ども(4歳から中学生)500円	
	入場者	185人【完売】	
	概要	低年齢から音楽に親しむことができるよう子どもと親の体験型コンサート。 出演：原田照久(トランペット)、金丸響子(トランペット)、豊田実加(ホルン)、 廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)、清田裕里江(パーカッション)	

3 ①	公演名	東日本大震災復興支援コンサート	
	公演日	平成 28 年 2 月 28 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 1,000 円	
	入場者	913 人	
	概要	東日本大震災の発生から 5 年目を迎えるにあたり、震災を風化させることなく友好都市の復興を引き続き支援していくために行われた事業で、ヤマハ目黒吹奏楽団および気仙沼市吹奏楽団による混成楽団演奏、気仙沼市立大島小学校元校長先生、生島ヒロシによるトーク。畠山美由紀、熊谷育美によるコンサートを実施した。 【助成：一般財団法人地域創造】【協力：東京急行電鉄株式会社】	
3 ②	公演名	東日本大震災復興支援コンサート 同時開催イベント 「宮城県気仙沼市震災復興パネル展」	
	公演日	平成 28 年 1 月 13 日 (水) ～2 月 28 日 (日)	
	会場	めぐろ区民キャンパスプラザ	
	料金等	入場無料	
	入場者	のべ 6,000 人	
	概要	宮城県気仙沼市の震災直後、そして現在の復興の様子をパネル展として、開催した。	
3 ③	公演名	東日本大震災復興支援コンサート 同時開催イベント 「宮城県気仙沼市物産展」	
	公演日	平成 28 年 2 月 27 日 (土) ～2 月 28 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	のべ 2,000 人 (27 日 800 人、28 日 1,200 人)	
	概要	目黒区友好都市である宮城県気仙沼市の物産展を開催し、多くのお客様が来場した。	

(2) 指定管理事業(1事業=2公演)

No.	内容		
1 ① ②	公演名	熊谷和徳&Kaz Tap Company Tap into the Light — in Tokyo	
	公演日	平成 28 年 2 月 26 日 (金) (全 6 回のワークショップあり)	
	会場	大ホール	
	料金等	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ参加費 5,000 円 ・公演 全席指定 一般 4,000 円 (区民一般は 3,500 円) 小中学生 2,000 円 	
	入場者	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 52 人【定員 30 名】 ・来場者数 650 人 	
	概要	<p>「世界で観るべきダンサー25 人」にも選ばれた、日本を代表するタップダンサーで、中目黒にスタジオがある目黒ゆかりのアーティストである熊谷和徳と自身のカンパニーによる公演。公募で選ばれ、6 回のワークショップを経験した参加者たちが共演し、ステージと客席が一体となる盛り上がりを見せた。</p>	

2 施設貸与・管理事業(定款第4条第1項第3号及び第4条第2項)

(1) 施設の保守管理等

職員による日々の日常点検や始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全・安心で使いやすい施設・設備の提供を行った。また、管理方法の再確認を行い、マニュアルに基づき、日々の確認業務を行った。

開館してから13年が経過し、機器類の劣化による交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は大ホールの照明設備等交換工事を行うことができた。その他の不具合については予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。なお、大ホールの客席扉や遮光幕の不具合については、引き続き、目黒区に要望していくこととする。

①めぐろパーシモンホール

- | | |
|--------------|------------------|
| ア 舞台機構保守点検 | オ 客席椅子保守点検 |
| イ 舞台照明保守点検 | カ エレベーター・リフト保守点検 |
| ウ 開閉天井照明保守点検 | キ スタインウェイピアノ保守点検 |
| エ 音響保守点検 | ク ヤマハピアノ保守点検 |

②中目黒GTプラザホール

- | | | |
|------------|----------|--------------|
| ア 音響機構保守点検 | イ 照明保守点検 | ウ ヤマハピアノ保守点検 |
|------------|----------|--------------|

(2) 貸館サービス

①新規事項

- ア 携帯電話等の電波が入りにくいという指摘に応え、電波業者等と協議し、一部電波改善を行った。
- イ チケット販売の代行サービスを行う中で、希望者には毎週の売り上げ結果の情報提供を開始した。
- ウ 諸室利用者に、無料でモップの貸出を始めた。

②継続事項

- ア チケット販売の代行サービスを行い、今年度は18件(昨年度は20件)、利用者にサービスを提供した。
- イ 節電の影響により、夏場の暑い時期に扇風機の無料貸出を行うなど、利用者等の要望に迅速に対応した。また、節電の一環として窓の日除けのために「ゴーヤのカーテン」を育成しており、場所については、昨年度と同規模でめぐろ区民キャンパス1階プラザに広く植栽した。
- ウ 利用者等の要望について迅速な対応と情報を共有化するため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化して開催した。
- エ 施設利用者抽選会を厳格にするため、目黒区と協議しながら、抽選会場には1団体1名の入場とし、座席の指定をした。
- オ 貸館利用者向けに公演を告知するポスターを区民キャンパス1階プラザ掲示板に掲示した。なお、掲示板については枚数を増やした。
- カ ホール内の施設の位置の問合せが多かったため、掲示物を多く設置し、わかりやすくした。
- キ 情報コーナー内に自動販売機を設置し、来場者に大変喜ばれた。また、情報コーナーにバスの時刻表を掲示し、来場者に好評であった。
- ク 利用毎に利用者アンケートを実施し、利用者の立場や目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。
- ケ 利用者の満足が得られる窓口サービスの向上に努めた。
- コ 顧客満足度による評価

年度	27年度	26年度	25年度
総件数	198件	215件	263件
評価	4.12	4.08	4.10

※施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等について、「良い」・「やや良い」・「普通」・「やや悪い」・「悪い」の5段階評価（5点満点）をしていただき、回答を集計している。

（3）職場訪問等の受け入れ

①学校の受け入れ

区立中学校等の職場訪問や職場体験に協力した。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であるが、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらった。

No	期 間	学校名
1	6月23日（火）～6月25日（木）【3日間】	区立東山中学校（3人）
2	1月13日（水）～1月14日（木）【2日間】	区立中央中学校（3人）
3	1月18日（月）～1月20日（水）【3日間】	区立第八中学校（2人）
4	2月5日（金）【1日間】	私立トキワ松学園（10人）

②視察等の受け入れ

他自治体等の視察に積極的に協力した。

No	日 程	団体名
1	6月29日（月）	神奈川県大和市

③その他

2月14日（日）に開催された日本アートマネジメント学会関東部会研究会（18人）の会場としてリハーサル室を提供し、財団の概要等を説明した。

（4）収益事業

公益事業に資する収益事業として物品販売、販売手数料及び自動販売機設置（13台）手数料での収入確保を図り、収益は前年度と比較して若干増加した。

補足資料

1 利用実績

名称	年度	開館日数	全体利用率			時間帯利用率			曜日別利用率	
			予約可能 件数(件)	利用 件数 (件)	利用率 (%)	午前 (%)	午後 (%)	夜間 (%)	平日 (%)	土・日 祝日 (%)
大ホール	27	359	855	685	80.1	87.6	88.1	66.0	72.0	92.2
	26	358	865	624	72.1	79.5	78.6	59.5	59.9	90.5
小ホール	27	359	899	782	87.0	85.0	90.4	85.4	83.9	91.9
	26	358	866	775	89.5	87.9	91.0	89.4	86.5	94.3
中目黒GTプラザ ホール	27	360	1,017	989	97.2	94.7	97.1	100.0	96.2	99.2
	26	359	1,014	967	95.4	89.6	96.4	100	93.7	98.6

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		全施設合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
コンベンション	90	13.1	141	18.0	365	7.7	66	6.7	662	9.2
クラシック	199	29.1	278	35.5	1,562	32.9	195	19.7	2,234	31.0
ポピュラー	73	10.7	79	10.1	373	7.9	51	5.2	576	8.0
演劇	3	0.4	64	8.2	131	2.8	0	0.0	198	2.7
ミュージカル	22	3.2	0	0.0	20	0.4	0	0.0	42	0.6
舞踊	221	32.3	56	7.2	1,137	24.0	580	58.6	1,994	27.7
伝統芸能	39	5.7	22	2.8	126	2.7	11	1.1	198	2.7
映像	10	1.5	7	0.9	6	0.1	0	0.0	23	0.3
その他	28	4.0	135	17.3	1,027	21.5	86	8.7	1,276	17.8
合計	685	100	782	100	4,747	100	989	100	7,203	100
合計(26年度)	624	100	775	100	4,682	100	967	100	7,048	100

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一般利用区内	42	6.1	137	17.5	961	20.2	135	13.7	1,275	17.7
一般利用区外	326	47.6	388	49.6	1,861	39.2	564	57.0	3,139	43.6
芸文登録団体	54	7.9	96	12.3	1,147	24.2	244	24.7	1,541	21.4
公的団体	20	2.9	16	2.0	48	1.0	1	0.1	85	1.2
財団	182	26.6	103	13.2	535	11.3	16	1.6	836	11.6
目黒区	61	8.9	42	5.4	195	4.1	29	2.9	327	4.5
合計	685	100	782	100	4,747	100	989	100	7,203	100
合計(26年度)	624	100	775	100	4,682	100	967	100	7,048	100

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハーサル室等諸室	中目黒GTプラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計	利用者	入場者	関係者	計	
4月	20,079	2,516	22,595	4,776	989	5,765	1,910	4,396	1,474	5,870	36,140
5月	12,527	2,849	15,376	5,602	888	6,490	1,894	3,846	642	4,488	28,248
6月	10,884	1,987	12,871	4,145	1,419	5,564	2,435	2,962	1,121	4,083	24,953
7月	13,770	1,928	15,698	7,140	644	7,784	2,572	3,453	693	4,146	30,200
8月	17,788	2,204	19,992	3,194	1,041	4,235	1,440	3,454	652	4,106	29,773
9月	12,714	2,547	15,261	2,734	956	3,690	2,809	3,274	679	3,953	25,713
10月	15,200	5,459	20,659	3,453	1,439	4,892	2,364	3,741	848	4,589	32,504
11月	18,079	3,275	21,354	5,161	1,273	6,434	2,712	3,303	925	4,228	34,728
12月	12,902	2,828	15,730	3,400	1,144	4,544	1,939	3,171	723	3,894	26,107
1月	11,594	3,322	14,916	4,232	1,189	5,421	2,131	3,113	859	3,972	26,440
2月	11,659	3,592	15,251	6,740	1,216	7,956	2,086	2,774	1,081	3,855	29,148
3月	17,014	3,948	20,962	4,746	1,157	5,903	2,015	3,182	905	4,087	32,967
合計	174,210	36,455	210,665	55,323	13,355	68,678	26,307	40,669	10,602	51,271	356,921
26年度	162,623	33,819	196,442	51,876	13,380	65,256	25,595	38,075	12,947	51,022	338,315

5 利用料収納実績

施設名 ※数字は年度	施設利用料	特殊器具利用料	合計	
めぐろパーシモンホール	27	119,875,340	24,374,210	144,249,550
	26	119,496,760	23,526,890	143,023,650
中目黒GTプラザホール	27	14,591,300	909,700	15,501,000
	26	16,008,050	1,043,400	17,051,450
合計	27	134,466,640	25,283,910	159,750,550
	26	135,504,810	24,570,290	160,075,100

※利用料収納については、会計上は当該年度利用分と次年度利用分を分けて計上するが、本表では収納日の年度の合計とした。

6 還付金実績

区分	施設利用料	特殊器具利用料	合計	26年度合計【前年度実績】
27年度納付分に対する還付金	8,270,865	0	8,270,865	【26年度】 7,232,325
26年度納付分に対する還付金	4,979,825	0	4,979,825	【25年度】 3,570,375
合計	13,250,690	0	13,250,690	10,802,700

7 施設見学会開催実績

開催月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	大ホール	2	2	2	2	2	2	1
	小ホール	2	2	2	2	2	2	2
参加人数		33	20	36	25	25	19	3
開催月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	26年度 合計
見学回数	大ホール	2	2	2	2	0	21	24
	小ホール	2	2	2	2	2	24	20
参加人数		25	12	20	9	14	241	185

8 個別見学対応実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	17	14	15	12	7	10	19
開催月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	26年度 合計
見学回数	16	10	12	23	8	163	103

第1 自主事業(定款第4条第1項第1号)

1 展覧会事業(自主企画展)

(1)	展覧会名	有朋自遠方来 ともありえんぼうよりきたる 新潟市美術館の名品たちーピカソとクレーもやってきた	 <p>展示風景 (A展示室)</p>  <p>展示風景 (ワークショップ室)</p>  <p>1. 講演会風景</p>  <p>2. 「大人のための美術カフェ」 談話風景</p>
	会期	4月11日(土)～6月7日(日)(50日間)	
	観覧料	一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、中小生無料、 ()内は20名以上の団体料金、障がい者は半額・その付添者1名は無料 (* 下線部は各展覧会共通事項の為以下省略)	
	入館者数	6,249人	
	展示概要	<p>目黒区美術館に二年先立ち開館した新潟市美術館は平成 27 年開館 30 周年を迎える。本展覧会では、新潟市美術館が形成してきた良質なコレクションを、海外作家はじめ代表的かつ魅力的な名品を選択して紹介した。特筆する点は、同じ時期に形成してきた当館コレクションとの間に「同じ作家の異なった作風や制作時期の作品」をはじめ、いくつかの「照応関係」を設定し、ふたつの美術館コレクションの「加算」から生まれる新しい拡がりを見せていった。両者を比較検討しながら、「ある時代を背景とした美術館とコレクションのあり方」を、「片方のコレクションだけでは描けないこと」を探りつつ示して、新潟と目黒の地で約 30 年間、同じ時代を過ごしてきた二つの美術館のコレクションのあり方を展示を通して振り返った。</p> <p>*サブタイトル「有朋自遠方来(ともありえんぼうよりきたる)」は『論語』学而編の冒頭、「不亦楽乎(またたのしからずや)」と続く広く知られた句から。「友人が遠くから訪ねてくれる。なんと嬉しいことか」というこの句は、「同じ学を志すものが出会うというのは、なんと喜ばしいことか」という意味だと解釈されてきた。その意を汲んで、同じ時代を過ごしてきたもうひとつの美術館のご厚意によって実現した本展のサブタイトルとした。</p>	
関連催事	①	<p>記念講演会「新潟市美術館のコレクション」 講師:松沢寿重氏(新潟市美術館学芸係長) 開催日:4月11日(土) 参加者:34人</p> <p>内容:本展図録巻頭論文の寄稿者である松沢氏が、新潟市美術館のコレクション形成について、開館時の1980年代から近年に至るまで、各時代の課題などに触れながら、スライドを用いて分かりやすく語った。</p>	
	②	<p>大人のための美術カフェ 担当学芸員:山田敦雄 開催日:5月9日(土) 参加者:17人</p> <p>内容:本展担当学芸員が、ギャラリートourを実施後、美術館において展示をつくる過程を説明し、本展示における課題、そこから見えてくる展示や作品の特徴や面白さについて話した。本展だけではなく、過去の展覧会実例を挙げることで、参加者に展覧会の新たな楽しみ方を提示する機会ともなった。</p>	

(2)	展覧会名	村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界
	会期	7月11日(土)～9月13日(日)(56日間)
	観覧料	一般800(600)円、大高生・65歳以上600(500)円、小中生無料、 ()内は20名以上の団体料金、障がい者は半額・その付添者1名は 無料 (*下線部は各展覧会共通事項の為以下省略)
	入館者数	13,775人
展示概要	<p>日本を代表する建築家の一人、村野藤吾(1891～1984)は、戦前戦後を通して幅広く多様な建築を設計した。本展は、目黒区役所が、村野設計による旧千代田生命本社に「総合庁舎」として移転後、一周年に開催した「村野藤吾のディテール展」から10年目を迎え、ふたたび村野藤吾にスポットあてて企画したものである。村野藤吾研究において関係を築いてきた京都工芸繊維大学美術工芸資料館と、同校、木村松・隈研究室と、村野藤吾の設計研究会の全面的な協力を得て、同校の学生達が制作した村野建築の模型80点と、美術工芸資料館が所蔵する村野・森建築事務所の図面と写真で構成した。旧千代田生命本社をはじめとする東京にある村野建築群、さらに庁舎、美術館、ホテル、集会施設など、ビルディングタイプに分類して展示室に立ちあがった「村野建築の森」が好評だった。会期中は、多くの来館者が訪れ、精緻な模型を熱心に鑑賞する様子が見られた。さらに関連催事も数多く開催し、近年、関心が高まる村野建築の再評価をさらに押し進め、村野建築の、まさに豊饒な世界を紹介していった。</p>	
関連催事	①	<p>特別講演会「村野藤吾が私たちに伝えるもの」 講師：長谷川堯氏（建築評論家、武蔵野美術大学名誉教授、造形大学客員教授） 開催日：7月26日(日) 参加者：81人</p> <p>内容：村野研究の第一人者である長谷川氏を講師に招いた。村野建築に関わる貴重なスライドを用いて、様々な視点からその魅力を講話した。</p>
	②	<p>ミュージアム コンサート—白色の建築模型群にこだまする、煌めくサクソフォンの響き 出演：鈴木 広志、東 涼太、上運天 淳市 開催日：8月7日(金) 参加者：62人</p> <p>内容：閉館後の空間を広く活用し、3人のサクソフォン演奏と村野建築の模型群が相乗効果をもたらすように、構成した。上演の前には参加者限定の鑑賞時間を設け、展覧会からインスパイアされた曲目も演奏されるなど、充実したプログラムとなった。</p>
	③	<p>村野藤吾を仮想空間で体験—SCALE=1/200の世界に没入 企画：河村容治（東京都市大学教授・目黒区美術館建築ガイドスタッフ） 日時：8月22日(土)、9月3日(木)、9月5日(土) スタッフ：新井夏実、日川正恵、藤崎俊輔（東京都市大学 都市生活学部都市生活学 インテリアプランニング研究室） 参加者：延べ423人(全日程総数)</p> <p>内容：360度撮影可能なカメラや最新のVR機器を利用し、本展の鑑賞の可能性を広げるプログラムを展開した。模型と実際の建築画像を対比しつつ、全方位から鑑賞することで、展示と機器双方の新たな楽しみ方が提示された。</p>



学生が制作した建築模型
(目黒区総合庁舎)



展示風景 (エントランスホール)



1. 特別講演会風景



2. コンサート演奏風景



3. 村野藤吾を仮想空間で体験

関連催事	<p>④ murano トーク 「建築作品とその模型から 見る村野藤吾の世界」 講師: 笠原一人氏(京都工芸繊維大学大学院助教) 開催日: 8月23日(日) 参加者: 73人</p> <p>内容: 村野研究者であり、本展企画者の一人である笠原氏が、「重合」「変形」「違反」という三つの視点から村野建築の「豊饒さ」を語った。展示されている模型と建築写真をあわせて参照し、村野が積み重ねた建築への思考を分析した上で、現代の繋がりにも言及し好評を博した。</p>	 <p>4. murano トーク 談話風景</p>
	<p>⑤ murano トーク 「今、村野藤吾に学ぶことの意味」 講師: 木下直之(東京大学教授) 松隈洋(京都工芸繊維大学教授) 開催日: 8月29日(土) 参加者: 70人</p> <p>内容: 本展監修者である松隈氏と、以前、村野設計による兵庫県立近代美術館に勤務していた木下氏を迎えての特別対談。村野建築における東京と関西の対比など、興味深い視点からの村野藤吾談義に加え、本展に展示した模型の制作者や元村野事務所の所員の方の談話も交えて、広範にわたった内容となった。</p>	 <p>5. murano トーク 対談風景</p>
	<p>⑥ murano ウォーク「ホテル建築」 グランドプリンスホテル新高輪(旧新高輪プリンスホテル) 日時: 9月2日(水) 場所: グランドプリンスホテル新高輪 建築ガイド: 佐藤健治(建築家・矩須雅建築研究所・目黒区美術館建築ガイドスタッフ) 参加者: 20人(定員20名)</p> <p>内容: 村野・森建築事務所に所属していた建築家・佐藤氏による見学会を実施した。村野建築を俯瞰でみる模型の展示にあわせて、本イベントでは村野が大切にしていたディテールを現場で体感する貴重な機会となった。</p>	 <p>6. murano ウォーク 「ホテル建築」</p>
	<p>⑦ murano ウォーク「茶室」 目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)茶室 / 帝国ホテル東光庵 日時: 9月9日(水) 場所: 目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)茶室 / 帝国ホテル東光庵 建築ガイド: 岸敏彦(建築家・岸設計室・目黒区美術館建築ガイドスタッフ) 参加者: 14人(定員15名)</p> <p>内容: 村野の豊富な知識に裏打ちされた和風建築の中でもビルの中に設けた茶室を巡ることで、その特性に踏み込んだ内容となった。東光庵では実際に呈茶を体験し、見るだけでなく、五感で村野建築を味わった。</p>	 <p>7. murano ウォーク 「茶室」</p>

<p>関連催事</p>	<p>⑧ murano ウォーク「オフィスビル」 近三ビルヂング(旧森五商店東京支店)、日本橋から大手町界限 日時:9月10日(木) 場所:近三ビルヂング、その近隣 建築ガイド:永井達也(建築家・目黒区美術館建築ガイドスタッフ) 参加者:18人(定員20名)</p> <p>内容:モザイクタイルが美しい近三ビルヂングをはじめとした、村野建築を中心に、東京駅周辺で見られる主要な建築を永井氏の解説により深く鑑賞した。ビル所有者・管理者の方々のご協力により、貴重な機会を得られ、参加者の反応も好評であった。</p>	 <p>8. murano ウォーク「オフィスビル」</p>
	<p>⑨ 大人のための美術カフェ 「村野藤吾の建築展のつくり方」 日時:9月11日(金) 参加者:35人</p> <p>内容:展覧会担当学芸員が、模型の調査から、運搬、展示など展覧会ができるまでの様子と、この期間に調査した村野建築について模型と実物のスライドを使いながら村野建築の現状を語った。展示の裏側を知ることができるトークイベントとして、好評を得ている。</p>	 <p>9. 大人のための美術カフェ</p>
<p>展評及び 広報実績</p>	<p>【展評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森本智之「新国立にない「人間の尺度」」〈文化・美術評〉7月31日(金) 東京新聞夕刊 ・(浅野)「緑風抄」8月18日(火) 宇部日報 ・黒沢綾子「紙の模型が語る豊饒で優しい世界 村野藤吾の建築展」〈文化 アート〉8月20日(水) 産経新聞朝刊 ・永田晶子「村野藤吾野建築／オスカー・ニーマイヤー展 模型が伝える輝き」〈評 美術〉8月20日(水) 毎日新聞夕刊 ・山本哲志「「村野建築」の多彩さ一堂に」8月21日(金) 神戸新聞朝刊 ・芥川喜好「建築の原罪を問うた人」〈時の余白に〉8月22日(土) 読売新聞朝刊 ・小形佳奈「模型が語る「村野イズム」」9月4日(金) 東京新聞 ・大矢和世「村野藤吾の足跡たどる 過去への敬意、建築に継承」9月4日(金) 西日本新聞朝刊 ・大西若人「村野建築 学生らが再現」9月4日(金) 朝日新聞(大阪版)夕刊 	

2 ワークショップ事業

(1) ワークショップ夏【建築教室】

同時期に開催した「村野藤吾の建築」展と関連する4回のワークショップを多彩に展開した。各回ごとに、村野建築に精通した専門家を講師に招き、模型や図面といった展示品や村野建築を<見る>こととあわせて、実際に手を動かしながらその魅力に迫った。

①	講座名	スケッチ大会 — 目黒区総合庁舎の「らせん階段」に挑戦！	 <p>目黒区総合庁舎の、裏側まで美しく設計された「らせん階段」をじっくりと視る</p>
	実施日時	7月31日(金) 10:30~16:30	
	講師	石田潤氏、山田卓矢氏(リンク建築設計工房・建築家)	
	対象・定員	小学3年生から中学生まで 10名、高校生以上 10名	
	参加者数	8人(申込者数9人)	
	内容	「らせん階段」や「十字架のオブジェ」、「縦格子バルコニー」と多くの見どころに溢れた村野藤吾設計による目黒区総合庁舎(1966年竣工)を、大人や子どもみんなでスケッチした。講師と共に会場の模型を鑑賞し、村野建築を俯瞰から捉えた後で、実際に目黒区総合庁舎の「らせん階段」を、それぞれが好きな場所から描き、最後に美術館に戻って、スケッチを見せながら思いを伝え合い、それぞれが発見した建築の魅力を共有した。	
②	講座名	スケッチ大会 — 「春夏のモザイク」や「うさぎ窓」を描いてみよう！	 <p>南口エントランスホールのユニークな形の「ウサギ窓」から広場、別館をのぞいて描く</p>
	実施日時	8月5日(水) 10:30~16:30	
	講師	石田潤氏、山田卓矢氏(リンク建築設計工房・建築家)	
	対象・定員	小学1年生から中学生まで 15名	
	参加者数	12人(申込者数12人)	
	内容	講師と一緒に、展示室の模型を鑑賞し、村野建築の特徴を実感しながら、好きなところ話し合った。鉛筆の使い方を学んだ後で、目黒区総合庁舎内に向かい、内部に施されたきれいな「モザイク窓」や「らせん階段」、「ウサギ窓」や「せせらぎの小川」を探して、好きな場所を選んで大きな画用紙に描いていった。最後に美術館でお互いの絵を鑑賞した。	
③	講座名	建築模型入門編—目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル) 玄関ひさしに挑戦！	 <p>模型制作の難しさと面白さ、そして玄関ひさしの魅力が実感できました</p>
	実施日時	8月1日(土)、8日(土) 11:00~17:00 ※2日間コース	
	講師	若原一貴(建築家)	
	対象・定員	高校生以上 15名	
	参加者数	9人(申込者数10人)	
	内容	村野藤吾の旧千代田生命本社ビル(現目黒区総合庁舎)のシンボリック存在、南口エントランスホールの美しいひさしの模型を制作した。展覧会鑑賞と、実際に目黒区総合庁舎で実物を確認した上で、いろいろな素材を用いて制作する中で、村野藤吾のデザインの魅力に迫った。	

④	講座名	ファミリーワークショップ わたし、かぞくー木っ端(こっば)で作る いえとまち	 <p>わたしからはじまった木端の家作り がおおきなまちに広がりました</p>
	実施日時	8月15日(土)、16日(日) 13:00~16:00 ※2日間コース	
	講師	目黒区美術館 TVT(トイコレクション ボランティアチーム) 佐藤健治(建築家)	
	対象・定員	4歳以上の2人1組の家族 12組 (未就学児が参加の場合は大人も一緒に)	
	参加者数	12組 24人(申込 14組)	
	内容	さまざまな木のかげら(木端)を沢山使って、街づくりをみんなで楽しんだ。最初に、木端で私の分身を作り、建築家・佐藤健治氏によるスライドレクチャーを受けた後で、展示された模型を鑑賞し、それぞれのグループで家を作った。2日目は、大きな空間に、家から広がる、それぞれが思い描く街を、グループの垣根を超えてつくり上げた。	

(2) ワークショップ春【美術の基本】

目黒区美術館では、美術表現をめぐる技法材料について掘り下げた内容のワークショップを実施してきた。こどものコースでは身体を使った体験を主とした内容を、大人のコースでは、専門性の高い講座を組み込んで、様々な角度から「美術の基本」に立ち返った。

①	講座名	こどものためのワークショップ みんなで描いて、大きくつながる 一色と形のものがたり	 <p>それぞれが描いたカラフルな紙をつなげて、そこに黒い線を全身で描く</p>
	実施日時	2月20日(土) 10:30~16:30	
	講師	鈴木俊輔(画家)	
	対象・定員	小学1年生から中学生まで 20名	
	参加者数	23人(申込者数26人)	
	内容	<p>絵画の基本となる「描く」ことに身体を使って向き合うプログラム。絵画の中の色と形を重視してきた講師の作品を鑑賞した後で、紙や絵の具といった画材と喋るように描いた。途中から参加者同士の画面をつなげ、その面の上に全員で線を描くことを通して、一人で描くこと、一緒に描くことの違いとそれぞれの楽しさを体感した。最後には紙から、パーツを切り出し、その形からまた様々な材料を組み合わせて作品を完成させた。</p>	
②	講座名	こどものためのワークショップ まきまき、ぐるぐる、すみかをつくる	 <p>部屋中に様々な紐を張り巡らせた「すみか」のもとで</p>
	実施日時	3月12日(土)、13日(日) 10:30~16:30 ※2日間コース	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊	
	対象・定員	新小学1年生から中学生まで 25名	
	参加者数	26人(申込者数32人)	
	内容	<p>当館のワークショップに参加していた子どもたちが大人となり、「メグロアソビ冒険隊」として、子どものために展開したプログラム。「すみか」をテーマに虫や鳥、動物の巣作りのお話を聞いてイメージを膨らませて、大きな布で遊んだ。さらに、いろいろな紐を張り巡らせ、部屋全体を自分たちをつつむ大きな巣へと変化させていった。身近な布や毛糸をつかって、のびのび造形を楽しむことを全身で楽しんだ。</p>	
③	講座名	おとなのためのワークショップ 美術の《解体新書》絵画編 1 フレーミングの秘密 —マッピングで変わる表現の世界	 <p>実技を交えながらマットの役割について講話</p>
	実施日時	2月28日(日)、3月5日(土) 10:30~16:30 ※2日間コース	
	講師	丸山勇(有限会社メセナ代表)	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	23人(申込者数28人)	
	内容	<p>絵画や版画の見え方を左右するマットや額に着目したプログラム。「額の構造と役割」「額装の基本と応用」「マッピングの形式」について専門的な座学を経て、実際に多くの額装を手掛けるフレーマーである講師のもと、持参した作品を額とマットを使用して、実際にフレーミングを実施した。知識と実技とが相互に結び付いた内容で、好評を得た。</p>	

④	講座名	おとなのためのワークショップ 美術の《解体新書》絵画編 2 絵画の〈表側〉と〈裏側〉 —美術作品の構造の秘密	 <p>実際に作品を見ながら、作品の構造を学ぶ</p>
	実施日時	3月19日(土) 11:00～16:30	
	講師	伊藤由美(神奈川県立近代美術館非常勤研究員[保存修復担当])	
	対象・定員	高校生以上 25名	
	参加者数	30人(申込者数 35人)	
	内容	普段展示された状態でしか見ることのない絵画の表面だけではなく裏面にも焦点あてたプログラム。絵画の保存、修復を専門とする講師を迎え、絵画の仕組みを講義で学んだ後に、作品の実見に移った。額から外した状態で絵画を見ることで、そこに作家や作品の様々な情報が潜んでいる事を知ることができる貴重な機会に、参加者からは熱心な質疑が絶えず飛び、充実した内容となった。	

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

学校との連携事業として、小学校の学年単位での鑑賞教室を展覧会ごとに受け入れた。

No.	展覧会名等	学校名	開催日	学年	参加者
1	新潟市美術館展	向原小学校	5月29日(金)	3年生	56人
2		中根小学校	6月2日(火)	3年生	63人
3		原町小学校	6月5日(金)	6年生	39人
4	村野藤吾展	下目黒小学校	8月27日(木)	6年生	49人
5		下目黒小学校	8月28日(金)	5年生	45人
6		下目黒小学校	9月3日(木)	4年生	55人
7		五本木小学校	9月11日(金)	4年生	71人
8	気仙沼と、東日本大震災の記憶展	油面小学校	3月2日(水)	6年生	63人

(参加者計:441人)

ギャラリーツアー実施風景 「新潟市美術館の名品たち—ピカソとクレーもやってきた」



(2) アウトリーチ

目黒区美術館にとどまるだけでなく、美術館館外での美術館周知と教育を兼ねた活動。当館の教材トイコレクションをもとに、独自のプログラムで児童館の子ども達とのコミュニケーションを図るなどした。

①	講座名	積み木でつくろう！いろいろなタワー	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	開催日	5月30日(土)13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象・定員	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
	参加者	96人(大人37人/小学生17人/未就学児童42人)	
内容	<p>区民センター児童館で毎年開催される春のプログラム。児童館に出張し、コレクションであるトイを使用して遊ぶという内容が基本となっている。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクションボランティアチームが主体となって実施した。</p> <p>今回は、身近な建造物である「タワー」という切り口から、積み木のもつシンプルな「積む」という行為の面白さを体験する内容とし、年齢にあわせて実際の「タワー」が持つ多様性もあわせて伝えることをプログラムのもうひとつの目的とした。年々参加者が増えている、このプログラムは、地域に根付き、定着している。また、児童館と美術館が連携し、双方の新規利用者を開拓する機能も担っている。</p>		 <p>実施風景</p>
②	講座名	積み木のまちのクリスマス	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	開催日	12月19日(土)13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象・定員	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
	参加者	92人(大人38人/小学生12人/未就学児童42人)	
内容	<p>区民センター児童館で実施を重ねているクリスマスをテーマにした冬のプログラム。児童館に出張し、コレクションであるトイを使用して遊ぶという基本をおさえ、クリスマスという季節感のあるテーマを設けることで、参加者の期待感を高める内容とした。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクションボランティアチームが主体となって実施した。</p> <p>今回は、積み木を使用して、クリスマスの賑やかな街をそれぞれが想像し、積み木の造形を活かしながら、工夫した独自の建物を創り上げた。また、建物がたくさん完成して街の姿がみえてくると、音楽を流し、お互いの建物を鑑賞した。参加者の中にははりピーターが増え、大人も子どもを手伝うだけではなく、自ら手を動かして主体的に参加する人が増えてきており、プログラムの精度の高さが、期待以上の効果をもたらしている。</p>		 <p>実施風景</p>

(3) トイの日

目黒区美術館が所蔵する積み木のコレクションを基本に、美しく造形的な積み木での感性教育、造形遊びを養うために長年にわたり実施。目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) が、当館の教材トイコレクションでの遊びをサポートした。

①	講座名	トイの日	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム)	
	開催日	2月21日(日)、27日(土) 13:00~16:00	
	実施場所	目黒区美術館 ワークショップルーム	
	参加者	延べ 207 人	
	内容	<p>毎年開催している「トイの日」は、当館の教材トイコレクションを活用した人気のプログラム。</p> <p>熟練したボランティアチームによって、会場構成がなされ、乳幼児から大人まで、それぞれのペースで自由に楽しむことのできる内容となっている。ボランティアは多彩なトイに関する知識を更新しながら、参加者の好奇心を刺激する働きかけを行い、参加者は、実際に身体を動かすことで、トイの可能性を広げていった。</p> <p>コレクションをしているネフ社の日本代理店、アトリエニキティキからもスタッフが派遣され、新たな積み木の提示や遊び方の実地指導も行われた。</p>	

実施風景

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が昭和 41 (1966) 年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム。

① ④	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		
	進行	目黒区美術館 建築ボランティア		
	内容	<p>【通常コース】【コンバージョンコース】【和室集中コース】を実施。建築ボランティアによるガイドは、個々の個性を活かした、多様な切り口で展開され、庁舎建築の魅力を伝えるものとして人気が高く、リピーターやコースを変えて複数回参加する方も見られた。今年度は、一般から専門家まで 334 人が参加した。</p>		
	開催日 (各日 14:00~ 16:00)	① 4月17日(金)	74 人[申込者数 85 人]	
		② 5月1日(金)	85 人[申込者数 88 人]	
		③ 5月17日(日)	92 人[申込者数 112 人]	
		④ 5月23日(土)	83 人[申込者数 119 人]	
対象	中学生以上			
参加人数	延べ 334 人			

通常コース ツアー風景

(5) デザインキャンプ

今年で5回目となるハーマンミラー・ジャパン株式会社と目黒区美術館の共同企画。若いデザイナーや学生に人気のプログラムとして定着してきた。今年度は、当館のフィルムコレクションを核として、チャールズ&レイ・イームズの活動に迫った。

①	講座名	島崎信と視る、チャールズ&レイ・イームズの16mmフィルム	 <p>イームズフィルム上映風景</p>  <p>ハーマンミラーストアにおいて、さまざまな椅子に座っての講話</p>
	開催日	3月20日(日) 10:30~16:00、26日(土) 10:00~14:30 ※2日間コース	
	実施場所	目黒区美術館、ハーマンミラーストア	
	講師	島崎 信(武蔵野美術大学名誉教授)	
	対象・定員	高校生以上 50名	
	参加者	41人(申込者数 50人)	
	内容	<p>著名な椅子の研究者・島崎氏を講師に迎え、目黒区美術館とハーマンミラーストアが行った二日間の共同ワークショップ。</p> <p>1日目は、島崎氏の講話と共に、目黒区美術館所蔵の16mmのイームズフィルムから島崎氏が選定したフィルムを鑑賞した。2日目は、ハーマンミラーストアにて、「イームズがデザインした椅子」、「同時代の椅子」、「近年デザインされた椅子」をテーマに、実際に座って観察しつつ、島崎氏が講話を行った。物事の見方を描いたイームズのフィルムと、島崎氏の話を楽しみつつ、デザインとその時代について考えながら、新しい発見を共有した。</p>	

(6) ワークショップセミナー2016 色の博物誌

作品を構成する素材や画材に着目し、当館独自の教材として開発した「画材と素材の引き出し博物館」を活用し、「色」について「視」方を提案するプログラム。

① 5 ④	講座名	ワークショップセミナー2016 色の博物誌		 <p>実施風景</p>
	進行	目黒区美術館学芸員 降旗千賀子		
	内容	<p>当館の教材として制作した「画材と素材の引き出し博物館」を出発点とし、「色の博物誌」と題した展覧会を5回開催してきた。本セミナーでは、展覧会同様、人と色材文化の関係について多角的に紹介し、実際に資料に触れながら、色を「視る」ことについて再考すべく、【青】、【赤】、【白と黒】、【緑と黄色】の4コースを実施した。複数回参加する方も多く、人気を博した。</p>		
	対象・定員	高校生以上 30名		
	開催日 (各日 18:30 ~20:00)	① 2月17日(水)-青	55人[申込者数 62人]	
		② 3月9日(水)-赤	39人[申込者数 48人]	
		③ 3月23日(水)-白&黒	54人[申込者数 63人]	
④ 3月30日(水)-緑&黄		49人[申込者数 58人]		
参加人数	延べ 197人			

4 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。27年度は13人の学生を受け入れた。

【27年度受入実施校】

青山学院大学、学習院女子大学、女子美術大学、成城大学、聖心女子大学、専修大学、多摩美術大学、日本大学、日本女子大学、八州学園大学、一ツ橋大学大学院、武蔵野美術大学大学院、和光大学各1人

(2) 広告事業等

① 広報事業

各展覧会やワークショップ等の広報については、当館ホームページ、めぐろ区報、目黒区ホームページを活用し、併せて展覧会ごとにプレスリリース(約300件)、ポスター・チラシの発送(約800件)、近隣商店会(7商店会)へのチラシ配付協力依頼などを行っている。なお、有料広告としては、「新潟市美術館の名品たち」展、「村野藤吾の建築」展において、新聞広告掲載を実施した。

26年度より実施している都営バスの広告代理店と年間契約し、都営バス天吊り広告を開始した。

美術館本館入口に設置している展覧会の年間ラインナップ看板のデータを加工したものを使用して、PRを行った。

24年度より、「高速メール配信 すぐメール」を採用し、メルマガ会員の募集をはじめた。展覧会チラシにQRコードを印刷し、専用のチラシを作成して会員を募集した結果、登録は267件に達した。(平成28年3月31日現在)。メルマガ会員登録者には企画展情報や各種催事・講演会・区民ギャラリーの空き情報を配信した。また、27年6月から公式ツイッターを開始し、各情報を発信した。

22年度よりスマートフォンのアプリ「ミューぼん」事業に協力を開始し、27年度は146人の利用があった。

区所管の文化・交流課の協力を受けて、5月18日(月)から25日(月)迄目黒区総合庁舎西口ロビーにおいて目黒区美術館の活動内容をパネルで紹介した。

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

27年度も26年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動、新たな需要の開拓、新たな観光資源を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行う。共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

27年度は、空調設備改修工事に伴う、開館日数の38日減により、売上冊数等が減となった。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
27年度	78館	199冊 (39,963冊)	2,870人 (229,545人)
26年度	78館	263冊 (33,130冊)	3,954人 (198,002人)

*上段は目黒区美術館、()内は全体数〔参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計〕

第2 受託事業(定款第4条第1項第2号及び第3号)

1 指定管理事業展覧会

子どもたち展は、統合で学校数が減る中、目黒区の子どもたちによる表現活動の成果を、学校と地域を結びつける展示として、美術館という場を機能させながら、連携のもと例年通り実施できた。

(1)	展覧会名	めぐろの子どもたち展	 <p>小学校図工展示の学校見学風景</p>
	会期	平成28年1月16日(土)～1月31日(日)(14日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	10,435人	
	展示概要	<p>目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示し、また子どもたちの鑑賞教育の場としても機能している。教職員による展示は、子どもたちの作品を鑑賞するだけではなく、保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を、互いに理解する機会として長きにわたりその役割を果たしている。</p> <p>今回は、「米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展」も同時開催した。</p> <p>作品数:4,406点</p>	

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品

① 新たな寄託作品(5点)

川村清雄4点、香月泰男1点

(2) 作品貸出

① 4件/4点

- ・アンドレ・ドラン/マクル・サンドス著『ドラン礼賛』(マニュエル・ブルケール出版版画集)
- ・アンドレ・ロート/ギ・ドルナン著『アンドレ・ロート礼賛』(マニュエル・ブルケール出版版画集)
- ・キース・ヴァン・ドンゲン/ポール・ギュット、アンドレ・ジークフリート著『ヴァン・ドンゲン礼賛』(マニュエル・ブルケール出版版画集)
- ・モーリス・ユトリロ/ルネ・ウィリー著『モーリス・ユトリロ』(マニュエル・ブルケール出版版画集)

展覧会名： ムルロ工房と20世紀の巨匠たち展

貸出先： DIC 川村記念美術館、神奈川県立近代美術館、島根県立美術館、北九州市立美術館

会期： [DIC] 平成27(2015)年4月4日～5月12日、[神奈川] 平成27(2015)年5月24日～7月20日、[島根] 平成27(2015)年7月29日～9月10日、[北九州] 平成27(2015)年9月19日～11月3日

貸出期間： 平成27(2015)年2月27日～11月13日

② 2件/2点

- ・北川民次「女」
- ・岡鹿之助「信号台」

展覧会名： 画家たちと戦争 彼らはいかにして生きぬいたのか展

貸出先： 名古屋市美術館

会期： 平成27(2015)年7月18日～9月23日

貸出期間： 平成 27 (2015) 年 7 月 6 日～9 月 29 日

③ 4 件／4 点

- ・鈴木良三「モレーの寺院」
- ・鈴木良三「クラマールの寺院」
- ・鈴木良三「モレーの水辺」
- ・中村研一「モレー風景」

展覧会名： アルフレッド・シスレー展

貸出先： 練馬区立美術館

会期： 平成 27 (2015) 年 9 月 20 日～11 月 15 日

貸出期間： 平成 27 (2015) 年 9 月 11 日～11 月 18 日

④ 2 件／2 点

- ・斎藤豊作「羊飼い」
- ・岡鹿之助「信号台」

展覧会名： よみがえる画家 板倉鼎・須美子展

貸出先： 松戸市教育委員会 (会場：松戸市立博物館)

会期： 平成 27 (2015) 年 10 月 10 日～11 月 29 日

貸出期間： 平成 27 (2015) 年 9 月 30 日～12 月 2 日

⑤ 43 件／44 点

- ・川村清雄

「水差し」、「裸体習作 (表) / 女の顔習作 (裏)」、「裸体習作」、「幼児石膏習作」

「村上彦四郎 (村上義光 錦御旗奪還図)」、「高砂」、「鴨」、「ベネチア風景」、「布袋と唐子」

「花」、「梅に雀」、「沙羅に葉袋」、「小督」、「いにしへの奈良の都」、「三色すみれ」、「冬」(色紙)

「小督」(色紙)、「梅」(色紙)、「鈴と絵馬」、「かれい」、「姫小松」、「妹背山婦女庭訓」(短冊二枚組)

「お玉が池」(短冊)、「(題不明)」(短冊)、「(題不明)」(短冊)、「(題不明)」(短冊)、「竹芝」(短冊)

「(題不明)」(短冊)、「關羽 (大町桂月訳評ほか『詳解全訳漢文叢書四 十八史略』見返し原画)」

「孟母断機 (山内計作訳解『詳解全訳漢文叢書九 全孟子』見返し原画)」、「柘榴」

「頼山陽像 (山内計作訳解『詳解全訳漢文叢書一 日本外史 (上)』口絵原画)」

「幸田露伴著『洗心廣録』表紙原画」、「太田道灌」、「朝顔につるべとられて貰い水」、「鸚鵡」

「静物 (紫陽花とチゴハヤブサ)」、「貝合せ」、「桜」、「梅に親子雀」、「まな・あらな」

「後鳥羽院隠岐配流の図」、「風景」

展覧会名： 開館 30 周年記念 川村清雄展

貸出先： 新潟市美術館

会期： 平成 27 (2015) 年 11 月 3 日～12 月 20 日

貸出期間： 平成 27 (2015) 年 10 月 22 日～12 月 26 日

⑥ 2 件／2 点

- ・高島野十郎「百合とヴァイオリン」
- ・高島野十郎「牡丹花」

展覧会名： 没後 40 年 高島野十郎展——光と闇、魂の軌跡

貸出先 : 福岡県立美術館 (他、平成 28 年度に足利市立美術館、九州芸文館に貸出予定)
会 期 : [福岡] 平成 27 (2015) 年 12 月 4 日～平成 28 (2016) 年 1 月 31 日
貸 出 : 平成 27 年 11 月 17 日～ (平成 28 年度にまたがる巡回展の為、作品返却は平成 28 (2016) 年 10 月の予定)

⑦ 4 件／14 点

- ・小川千甕「フランクフルト風景」
 - ・小川千甕「フランクフルト風景」
 - ・小川千甕「セーブル風景」
 - ・小川千甕 スケッチブック 計 11 冊
- 展覧会名 : 小川千甕 縦横無尽に生きる展
貸出先 : 京都市文化博物館
会 期 : 平成 27 (2015) 年 12 月 8 日～平成 28 (2016) 年 1 月 31 日
貸出期間 : 平成 27 (2015) 年 12 月 2 日～平成 28 (2016) 年 2 月 10 日

⑧ 3 件／3 点

- ・藤田嗣治「静物 (糸巻)」
 - ・藤田嗣治「静物 (インク壺)」
 - ・藤田嗣治使用トランク
- 展覧会名 : 藤田嗣治の小宇宙～私のアトリエによろこそ～展
貸出先 : 秋田県立美術館
会 期 : 平成 28 (2016) 年 1 月 21 日～3 月 21 日
貸出期間 : 平成 28 (2016) 年 1 月 14 日～3 月 25 日

⑨ 5 件／5 点

- ・藤田嗣治「家族」
 - ・藤田嗣治「少女」
 - ・藤田嗣治「カフェ・ラ・ロトンド」
 - ・藤田嗣治「裸婦と猫」
 - ・藤田嗣治「自画像」
- 展覧会名 : 洗濯船と蜂の巣—愛と青春のアトリエ—展
貸出先 : 松坂屋美術館
会 期 : 平成 28 (2016) 年 1 月 23 日～2 月 23 日
貸出期間 : 平成 28 (2016) 年 1 月 14 日～3 月 2 日

3 区民ギャラリーの貸出

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率の減については、抽選時の半面(A面又はB面)申込み後、残り半面(A面又はB面)が未利用のままとなったケースの増が主な要因として考えられる。

空き状況については従来のホームページでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、めぐろ観光まちづくり協会の窓口にてチラシ設置の協力をしていただいた。また、新規利用者の開拓を狙い、美術関係学部がある大学に利用案内を送付した。兼ねてから要望があった展示台について収納庫を塗装し色別に分け、利用者が展示台の出し入れをし易いように改良した。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料収納実績	利用率	入館者数
27年度	497面	4,998,000円	86.9%	延べ28,611人
26年度	568面	5,622,750円	96.3%	延べ31,780人

*利用料収納は、会計上は当該年度と次年度利用分を分けて計上するが、本表では収納日の年度の合計とした。

4 その他の受託事業

(1) 受託事業展覧会

①	展覧会名	気仙沼と、東日本大震災の記憶 —リアス・アーク美術館 東日本大震災の記録と津波の災害史	 <p>展示室 A</p>  <p>展示室 C</p>
	会期	平成28年2月13日(土)～3月21日(月・休) (33日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	7,159人	
	展示概要	<p>本展では、目黒区の友好都市、宮城県気仙沼市にあるリアス・アーク美術館が平成25(2013)年4月に公開した常設展示『東日本大震災の記録と津波の災害史』展を東京地区で初めて大きく取り上げた。</p> <p>被災地域の復旧と復興への活用のため、同館が震災直後から約2年をかけて撮影した被災現場の写真を中心に、一部の「被災物」をあわせて紹介した。また、同館の特色あるもう一つの常設展示、地域の歴史・民俗資料をまとめた『方舟日記—海と山を生きるリアスな暮らし』を基にした特別展示を行い、その豊かな地域文化の一端もあわせて紹介した。</p> <p>震災から5年、本展を通じて震災の記録を見直すことで、地域や世代を超えて、その記憶を更新/形成させ、考えていく一助となることを目指し開催した。</p>	
関連催事	<p>特別講演会 「震災をどのように定義するべきか」 講師：山内宏康(リアス・アーク美術館 学芸係長) 開催日：2月13日(土) 参加者：69人 内容：被災地の学芸員として、講師が震災直後から約2年かけて行った震災の記録・調査活動について、直面した課題やその意義に触れながら、記録写真と共に講話した。ひとりの被災者として、また美術館学芸員として、被災物や資料を展示することの必然性についても言及された。参加者は熱心に聴講し、震災に関する記憶が更新されたことを感じられる内容であった。</p>	 <p>講演会風景</p>	

(2) めぐるアートウィーク

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

①	講座名	音楽と美術のワークショップ 「CDジャケットをデザインする～音楽のイメージからヴィジュアル・イメージへ」	  実施風景
	講師	色部義昭(グラフィックデザイナー／アートディレクター) 高田唯(グラフィックデザイナー／アートディレクター) 秋岡陽(音楽学／フェリス女学院大学 学長)	
	開催日	10月17日(土)、18日(日) 10:30～17:00 [全2日間]	
	実施場所	目黒区美術館 ワークショップルーム	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者	18人 [申込者数 22人]	
	内容	パーシモンホールとの合同企画。音楽と美術が交差する表現媒体である「CDジャケット」の制作を通して、双方にアクセスするプログラム。色部、高田の両氏による、社会とグラフィックの関係についての話、秋岡氏による音楽と詞の関係についての話などの後に、参加者がお気に入りのCDとそのデザインの魅力を発表。自身の選んだ曲に合わせてカバーデザインを、CGではなくアナログ的に制作した。音楽と美術、異なる領域がそれぞれにもつ魅力を眼と耳で感じる充実したプログラムとなった。	
②	講座名	目黒建築めぐり塾「親子東大探検隊」	 東京大学駒場キャンパスでの実施風景
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	11月7日(土) 10:00～12:00	
	実施場所	東京大学駒場Iキャンパス、東京大学駒場博物館	
	対象・定員	小学校4年生～6年生とその保護者 2名1組10組	
	参加者	24人 [12組] (申込者数 36人 [18組])	
	内容	近年連続で東京大学を会場に開催し、好評を博してきた。今までは対象を大人に限ってきたが、今年度は新たな試みとして親子を対象とした。講師の折茂氏は、企画段階から関わり、子ども向けの内容にするのではなく、親子双方にとって充足感の高いイベントとなるよう試みた。 東京大学の歴史的な背景から誕生した建築を、折茂氏の話聞きながらじっくり見ることで、その建築の魅力や意義を再認識する機会となり、親子で建築に親しむことのできる有意義なプログラムとなった。	

③	講座名	目黒建築めぐり塾 「旧前田家本邸+日本民藝館コース」	
	講師	永井達也（建築家） 岸 敏彦（建築家）	
	開催日	11月12日（木） 10:00～16:00	
	実施場所	旧前田家本邸（洋館・和館）、日本民藝館（本館・西館）	
	対象・定員	高校生以上 30名	
	参加者	19人（申込者数 31人）	
	内容	<p>旧前田邸について豊富な知見をもつ建築家 2 名による例年人気のコース。永井氏、岸氏が、それぞれの観点から建築の魅力を参加者に詳細に講話した。東京都指定有形文化財でもある旧前田本邸和館の保存修復工事後のプログラムとなり、文化財における耐震工事についても詳細な解説がなされ、目黒の治政とも関係が深く、東京大学の歴史とも繋がりのある建築を広い観点から認識できる内容となった。</p> <p>日本民藝館も、「建築」という視点からみることで、参加者に新たな発見をうながす機会ともなった。</p>	
旧前田家本邸での実施風景			

第3 その他事業（定款第4条第1項第4号、及び第4条第2項）

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

(1) 区展（区民作品展）への協力

絵画、写真、書、手工芸など区民の美術作品を公募展示する区展実行委員会にオブザーバー参加し、事前打合せから会場等の設定・撤去、展覧会の運営、広報等に協力した。

- ・会期:9月22日(火・休)～10月4日(日)(11日間)
- ・入場者数:4,061人
- ・出品点数:553点

(2) 区内美術4団体への協力

共催事業として区民ギャラリーを活用して各団体の展覧会を開催した。美術館として区報掲載や住区センター・地区サービス事務所へのチラシ配付等広報に協力した。

- ①目黒区写真美術協会展（会期:4月14日(火)～19日(日)、入場者数:168人）
- ②目黒区書作家協会展（会期:5月20日(水)～24日(日)、入場者数:456人）
- ③目黒区美術家協会展（会期:6月25日(水)～29日(日)、入場者数:350人）
- ④目黒区美芸作家協会展（会期:平成28年3月23日(水)～27日(日)、入場者数569人）

(3) 区内中学校等への協力

区内中学校の職場訪問、職場体験に協力した。

- ①職場体験:
 - ・7月16日(木)～17日(金)駒場東邦中学校2年生4人
 - ・8月26日(水)～28日(金)目黒学院中学校3年生2人

②職場訪問:平成28年2月5日(金)トキワ松学園中学校2年生4人

(4) 視察等の受け入れ

- ・6月 4日(木) 東京都幹部職員6人
- ・7月31日(金) 中国北京市東城区教育委員会視察団8人(通訳・添乗員含む)
- ・平成28年2月14日(日) 日本アートマネジメント学会関東部会研究会10人
- ・2月18日(木) 名古屋市議会(公明党名古屋市会議員団)1人

(5) 研修等の受け入れ

- ・「村野藤吾の建築」展会中に首都大学東京の学生6人の職場体験を受け入れた。

2 危機管理体制

目黒区美術館消防計画に従い、目黒消防署の指導を得て、震災を想定した職員・監視員参加の避難訓練を実施した。また、同じく目黒消防署の指導のもと職員対象のAED講習を行った。

3 収益事業等(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

通年で委託契約をしている受託商品は新たな商品を3種類増やした。また、各展覧会に関連した書籍等を販売し、手数料収入を得た。

村野藤吾展においては、展覧会の関連商品としてポストカードを作成し、単品では1,288枚、セットでは247セットを売上げた。その他書籍類の受託商品も大変好評で8種類計578冊を売上げた。

展覧会図録については、1年を通してホームページ上から簡単に申し込みが可能な通信販売を実施しており(電話、FAX申し込みも可)、遠隔地のお客様からは大変好評であった。村野藤吾の建築展の図録は一般書籍として作成したが、当館では会期中1,107冊売上げた。また、気仙沼と、東日本大震災の記憶展の図録は、リアス・アーク美術館制作の図録を委託販売したが、大変好評で660冊売上げた。(なお、当該図録については、展覧会の主旨に鑑みてリアス・アーク美術館から手数料は頂いていない。)

村野藤吾の建築展会期中にラウンジの限定特別メニューとして、村野藤吾の出身地である唐津産の炭酸清涼飲料を販売し、大変好評であった。

4 ボランティア活動

ボランティア会会員95人(平成28年3月31日現在)が、各班毎に美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ラウンジ班は展覧会の開催期間延べ164日(区展を含む)にわたり、ラウンジ運営に協力した。

トイ・コレクション班はアウトリーチ2回及び「トイの日」2日間、夏のワークショップ恒例のファミリーワークショップ「わたし、かぞく一木っ端(こっば)で作るいえとまち」の企画から実施まで精力的に活動した。

建築班は目黒区総合庁舎建築ガイドツアー及びアートウィーク事業に協力した。

広報班は展覧会のチラシ、ポスター作業に協力した。

資料整理班は展覧会のデータ入力補助や資料の整理を行った。

ボランティア研修として11月19日(木)にバスツアーを開催し、葦山反射炉、村野藤吾建築による三養荘の見学を行った。夏の展覧会で村野藤吾の建築展を開催したこともあり、総勢51人の参加となり、ボランティア会創設以来はじめてバス2台を動員する結果となった。その他の研修として、1月8日(金)に館長による美術講座「仏像の誕生」を実施し、35人の参加があった。

平成27年度 展覧会事業実施状況

区 分		新潟市美術館の名品たち	村野藤吾の建築	めぐろの子どもたち展	気仙沼と、東日本大震災の記憶	計	
会 期	期間	H27.4.11～6.7	H27.7.11～9/13	H28.1.16～1.31	H28.2.13～3.21		
	日数	50	56	14	33	153	
入館者数(人)		目標	5,000	8,000	10,000	4,000	27,000
		実績	6,249	13,775	10,435	7,159	37,618
有料			1,970	9,903	0	0	11,873
一般(下記以外)			1,219	7,118	0	0	8,337
高校・大学・高齢者			751	2,785	0	0	3,536
無料			4,279	3,872	10,435	7,159	25,745
招待券			2,179	1,943	0	0	4,122
ぐるっとパス			1,706	1,164	0	0	2,870
幼児・小・中学生			142	410	0	62	614
小学生ギャラリーツアー			146	206	1,921	0	2,273
その他(ピリエ会員等)			106	149	8,514	7,097	15,866
入館者割合(%)							
有料			31.5	71.9	0.0	0.0	31.6
無料			68.5	28.1	100.0	100.0	68.4
1日当たり入館者数(人)			125	246	745	217	246
入館料収入(円)			1,222,150	7,323,840	0	0	8,545,990
備 考							

* 「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数(「めぐろの子どもたち」展、「気仙沼と、東日本大震災の記憶」展については一般入館者数である)

平成27年度 展覧会入館者数等の推移

区分		平成27年度	平成26年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数	4	5	△ 1	
	開館日数	153	191	△ 38	
	入館者数 (人)	有料	11,873	22,201	△ 10,328
		無料	25,745	25,996	△ 251
		合計	37,618	48,197	△ 10,579
観覧料(円)	8,545,990	17,612,680	△ 9,066,690		
教育普及事業 (ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ	開催数(回)	8	8	0
		参加者数(人)	155	119	36
	ギャラリーツアー	開催数(回)	8	14	△ 6
		参加者数(人)	441	694	△ 253
	トイコレクション アウトリーチ	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	188	128	60
	トイの日	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	207	233	△ 26
	庁舎建築ガイド ツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者数(人)	334	292	42
	デザインキャンプ	開催数(回)	1	1	0
		参加者数(人)	41	15	26
	長谷川堯の 建築セミナー (アートウィーク)	開催数(回)	実施無し	2	△ 2
		参加者数(人)	実施無し	117	△ 117
	ワークショップセミナー 色の博物誌	開催数(回)	4	実施無し	4
		参加者数(人)	231	実施無し	231
	大人のための 美術カフェ	開催数(回)	2	5	△ 3
		参加者数(人)	52	198	△ 146
	合計	開催数(回)	27	38	△ 11
		参加者数(人)	1,418	1,796	△ 378

2 処務の概要

(1) 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成26年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 契約期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成26年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 契約期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
目黒区文化ホールの管理の業務に係る個人情報取扱覚書	平成26年4月1日	目黒区長	目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書第17条(個人情報の保護)に基づく覚書
目黒区美術館の管理の業務に係る個人情報取扱覚書	平成26年4月1日	目黒区長	目黒区美術館の管理に関する基本協定書第17条(個人情報の保護)に基づく覚書
目黒区文化ホールの管理運営に関する年度協定書	平成27年4月1日	目黒区長	目黒区文化ホール管理業務の各年度の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する年度協定書	平成27年4月1日	目黒区長	目黒区美術館管理業務の各年度の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書

(2) 財団運営会議開催状況

回数	開催年月日	議 題
第1回	平成27年5月1日	* 平成26年度決算書の監事への書類送達
		* 理事会・評議員会提出議案等の確認について
第2回	平成27年5月27日	* 平成26年度決算書の監事からの監査報告書の受理
		* 理事会・評議員会提出議案等の確認について
第3回	平成27年9月24日	* 理事会・評議員会提出議案等の確認について
		* 平成28年度区に対する予算要求について
第4回	平成28年2月4日	* 理事会・評議員会提出議案等の確認について

(3) 理事会・評議員会開催状況

① 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	平成27年6月3日	議案第1号	・平成26年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告書及び決算(案)
		議案第2号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について(案)
		議案第3号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員選定委員の選任について(案)
		議案第4号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部改正について(案)
		議案第5号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団退職手当支給規程の一部改正について(案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館事業計画(素案)について ・平成27年度文化ホール及び美術館の事業報告について ・次期評議員の選任決定について ・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について ・情報提供・情報発信方法の検討結果について
書面表決	平成27年6月23日	議案第6号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長の選定について
		議案第7号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団副理事長及び常務理事の選定について
第2回	平成27年10月6日	議案第8号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(文化ホール)の変更(案)
		議案第9号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正第1号予算(案)
		議案第10号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員会の招集について(案)
		議案第11号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団退職手当支給規程の一部を改正する規程
		議案第12号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団特定個人情報保護規程及び基本方針
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館事業計画(原案) ・平成27年度文化ホール及び美術館事業報告(9月13日現在) ・平成26年度文化ホール及び美術館指定管理者運営評価結果報告について
書面表決	平成27年12月1日	議案第12号	・特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針及び公益財団法人目黒区芸術文化振興財団特定個人情報取扱規程
第3回	平成28年2月16日	議案第13号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)
		議案第14号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)
		議案第15号	・平成28年度資金調達及び設備投資の見込み(案)
		議案第16号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について(案)
		議案第17号	・専決処分した事項の報告及び承認について(案)
		議案第18号	・平成27年度文化ホールの特定費用準備資金の保有について(案)
		議案第19号	・平成27年度目黒区美術館の特定費用準備資金の保有について(案)
		報告事項	・重要な職員(理事)の任用手続きについて(案) ・平成27年度文化ホール及び美術館事業の実績報告(1月末現在) ・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について

② 評議員会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	平成27年6月23日 (定時評議員会)	議案第1号	・平成26年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告書及び決算(案)
		議案第2号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について(案)
		議案第3号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団監事の選任について(案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館事業計画(素案)について ・平成27年度文化ホール及び美術館の事業報告について ・次期評議員の選任決定について ・情報提供・情報発信方法の検討結果について
第2回	平成27年10月20日	議案第4号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(文化ホール)の変更(案)
		議案第5号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正第1号予算(案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館事業計画(原案) ・平成27年度文化ホール及び美術館事業報告(9月13日現在) ・平成26年度文化ホール及び美術館指定管理者運営評価結果報告について
第3回	平成28年2月23日	議案第6号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)
		議案第7号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)
		議案第8号	・平成28年度資金調達及び設備投資の見込み(案)
		報告事項	・重要な職員(理事)の任用手続きについて(案) ・平成27年度文化ホール及び美術館事業の実績報告(1月末現在)

(4) 評議員・理事・監事名簿

① 評 議 員

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
評議員	新 井 篤 美	早稲田大学招聘研究員
〃	伊 藤 昌 明	目黒信用金庫理事相談役
〃	柏 谷 秀 男	弁護士
〃	柳 屋 隆	エレクトラー株式会社代表取締役
〃	塩 田 純 一	新潟市美術館館長
〃	安 原 喜 武	目黒区美芸作家協会会長
〃	井 上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
〃	木 田 左和子	ピアニスト・昭和女子大学非常勤講師
〃	箱 守 栄 一	美術品リスクコンサルタント
〃	牧 野 雅 子	童謡の里めぐろ保存会
〃	橋 本 安 男	目黒区民交響楽団

(平成28年3月31日現在)

② 理 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	清 水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
副 理 事 長	山 下 直 純	山下寝具株式会社会長
常 務 理 事	本 多 浩 一	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長
理 事	今 中 美耶子	弁護士
〃	田 中 晴 久	平和祈念展示資料館学芸員
〃	秋 山 光 文	目黒区美術館長
〃	中 屋 早紀子	声楽家 (桐朋学園芸術短期大学音楽科講師)
〃	三 木 隆二郎	公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構特任研究員
〃	島 崎 忠 宏	めぐろパーシモンホール館長
〃	渡 部 弘	行政経験者

(平成28年3月31日現在)

③ 監 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
監 事	増 秀 夫	税理士
〃	大 竹 勲	行政経験者

(平成28年3月31日現在)